



母は
悩んでいた

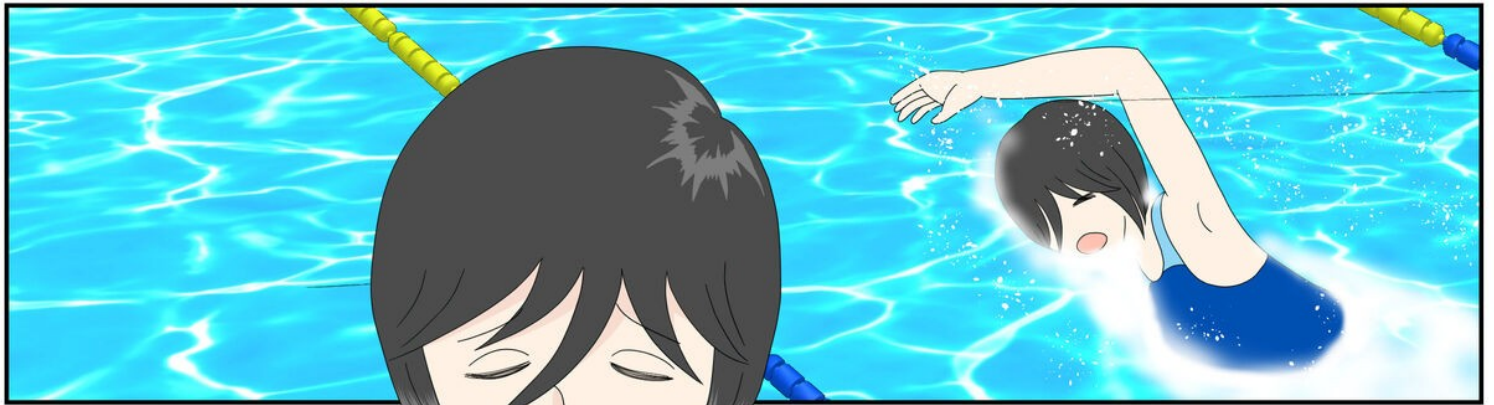
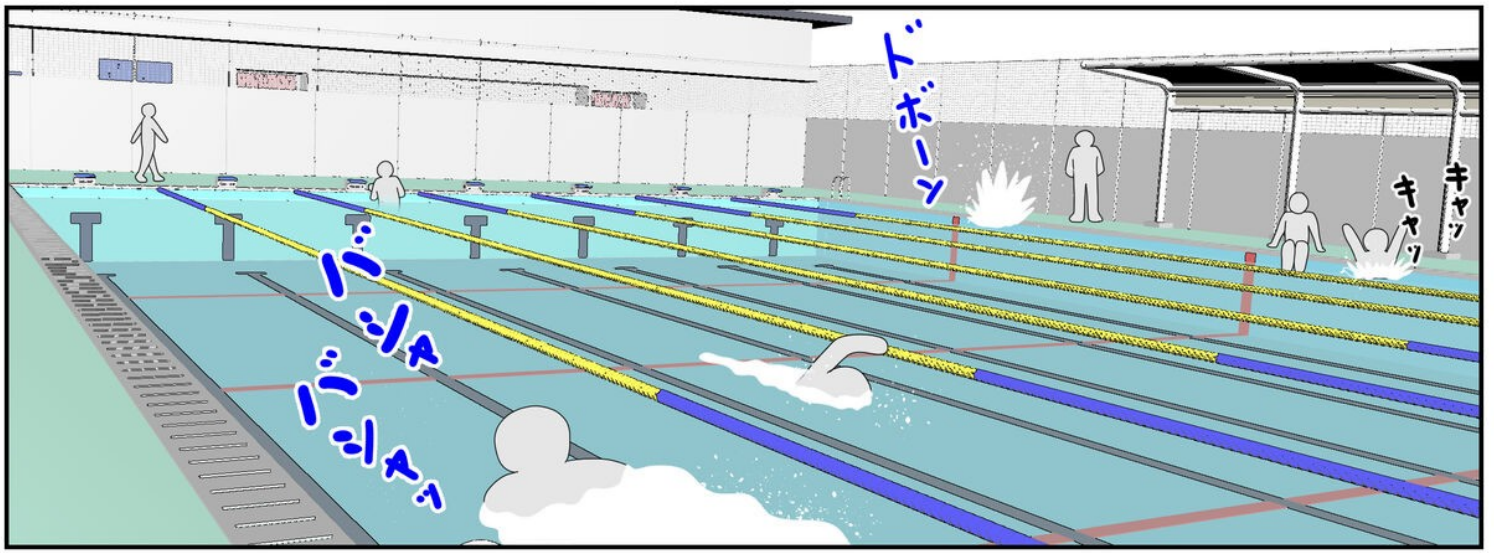
息子・純平との
関係を断ち切れ
ないことに……

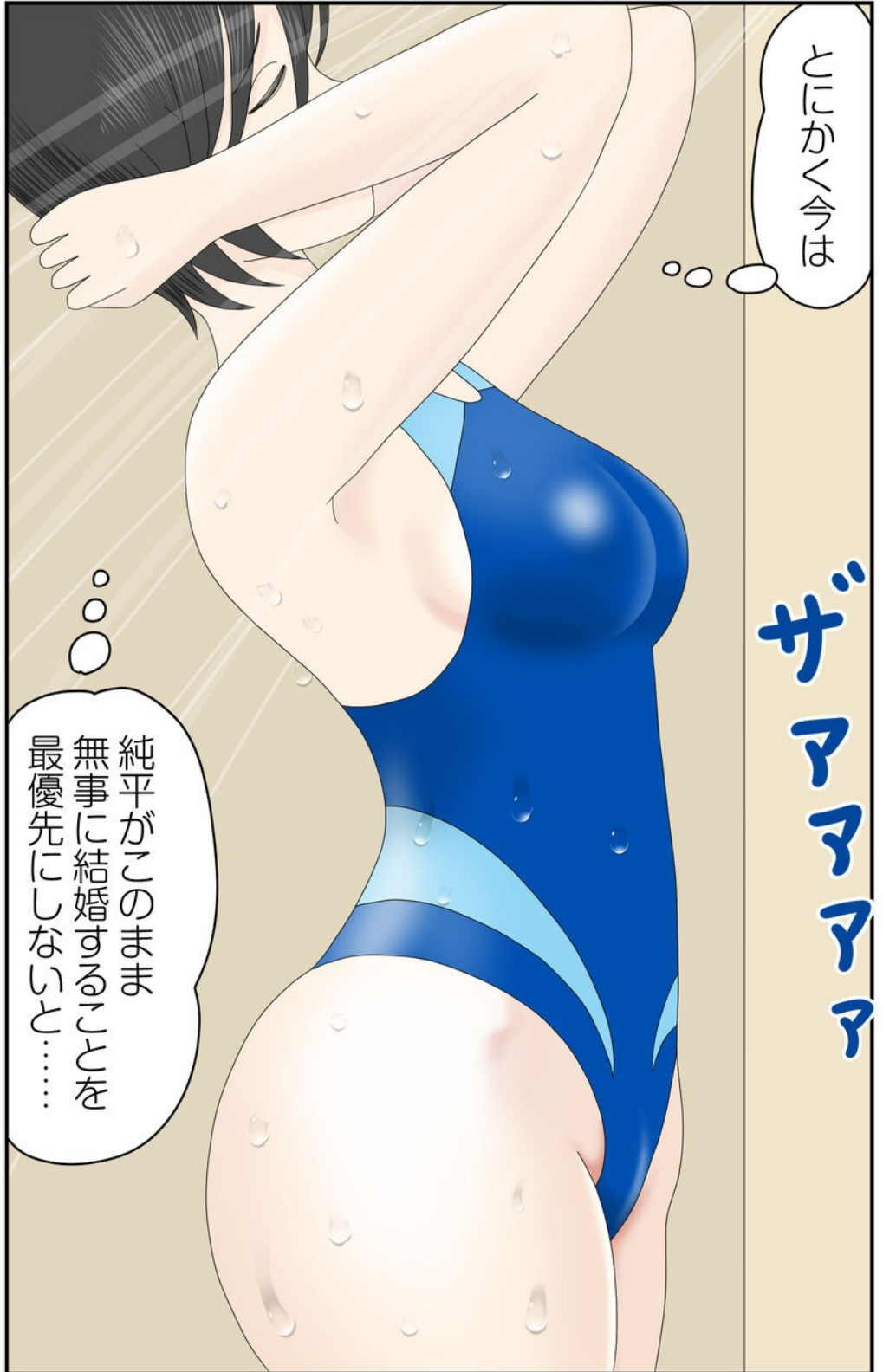
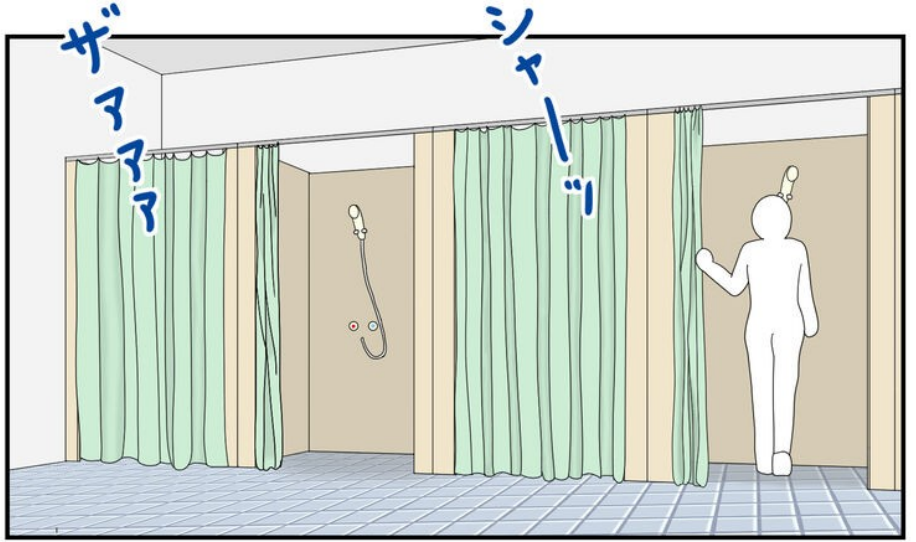
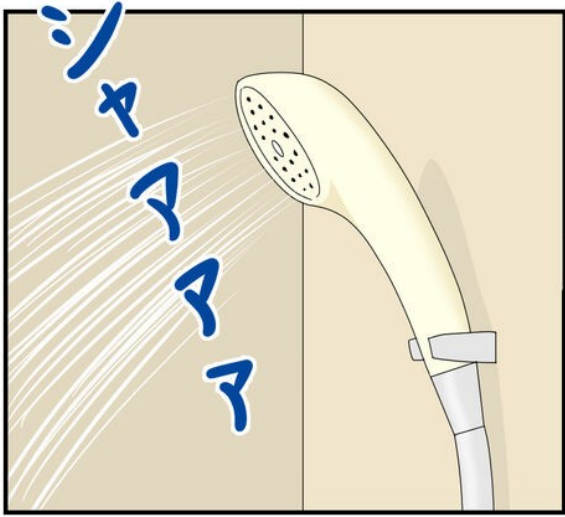
オナネタ 母さん

別世界線

6

お
墮ちる母





。。。。
純平がこのまま
無事に結婚することを
最優先にしないと……

ザマママママ



フフ……父さんに
用事があったら
電話したら
母さんが
ここだって



じゅ……純平
いつのまに……

ザ
マ
マ
マ
マ

ど……
どうして
ここが……



だから母さんの
水着姿を
おがませて
もらおうと
思ってるね





だけど
このプリケツを
見ちゃった以上
我慢する方が
無理でしょ

だろ？
違う？
母さん



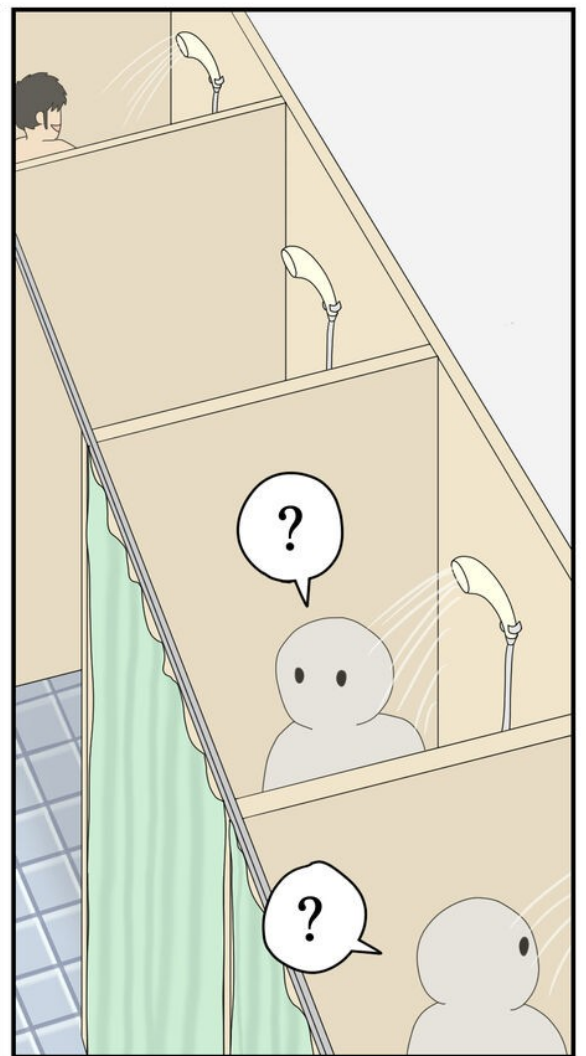
はんあ
あはん

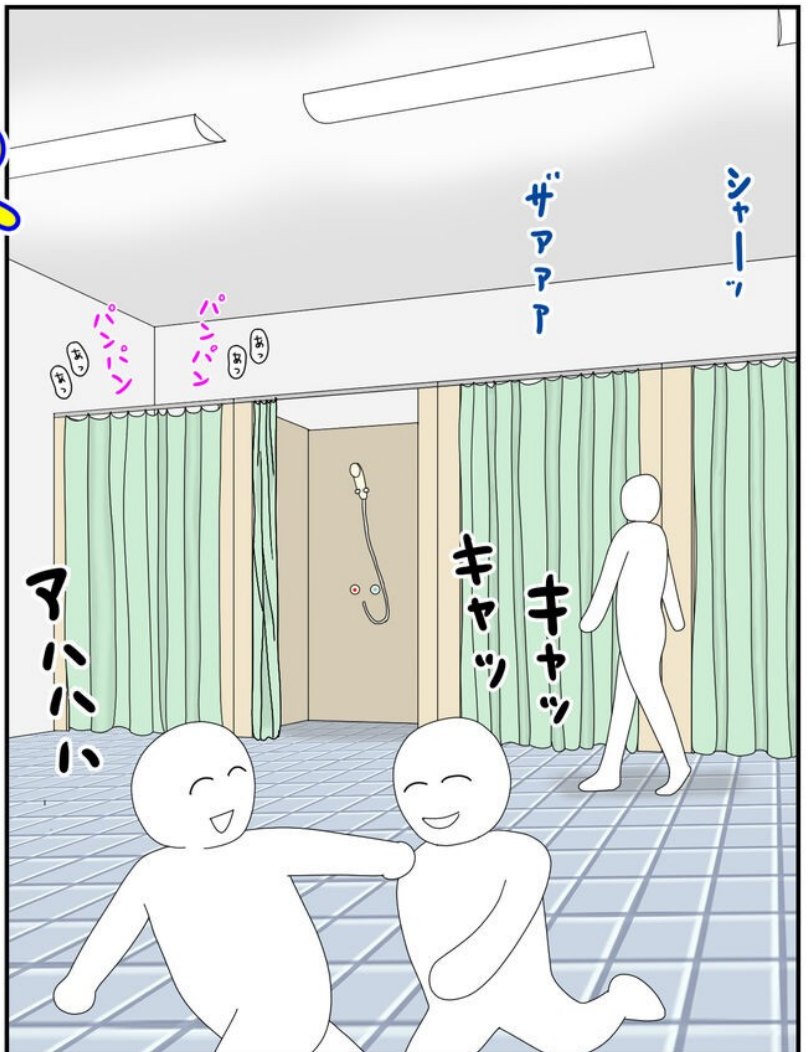
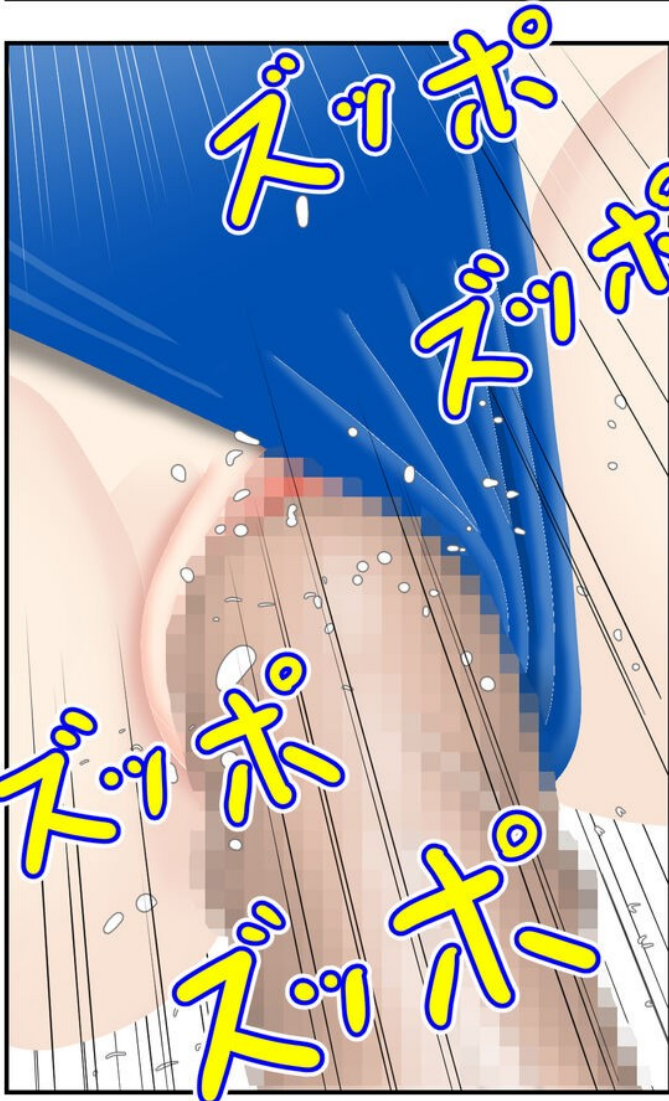
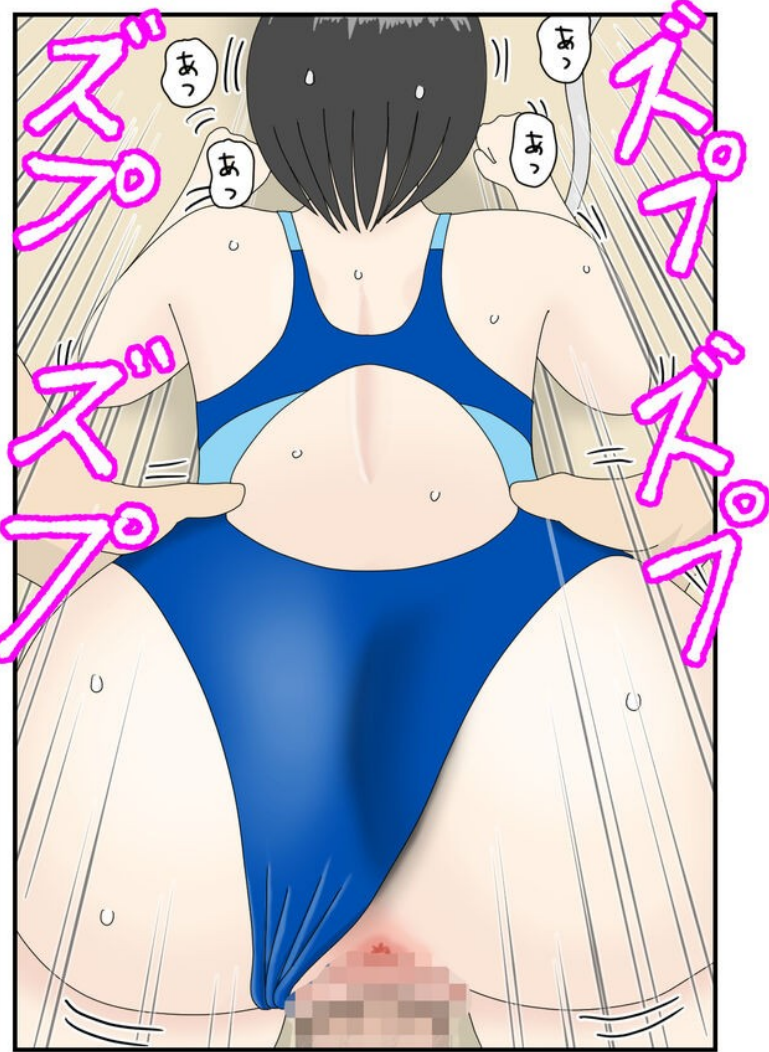
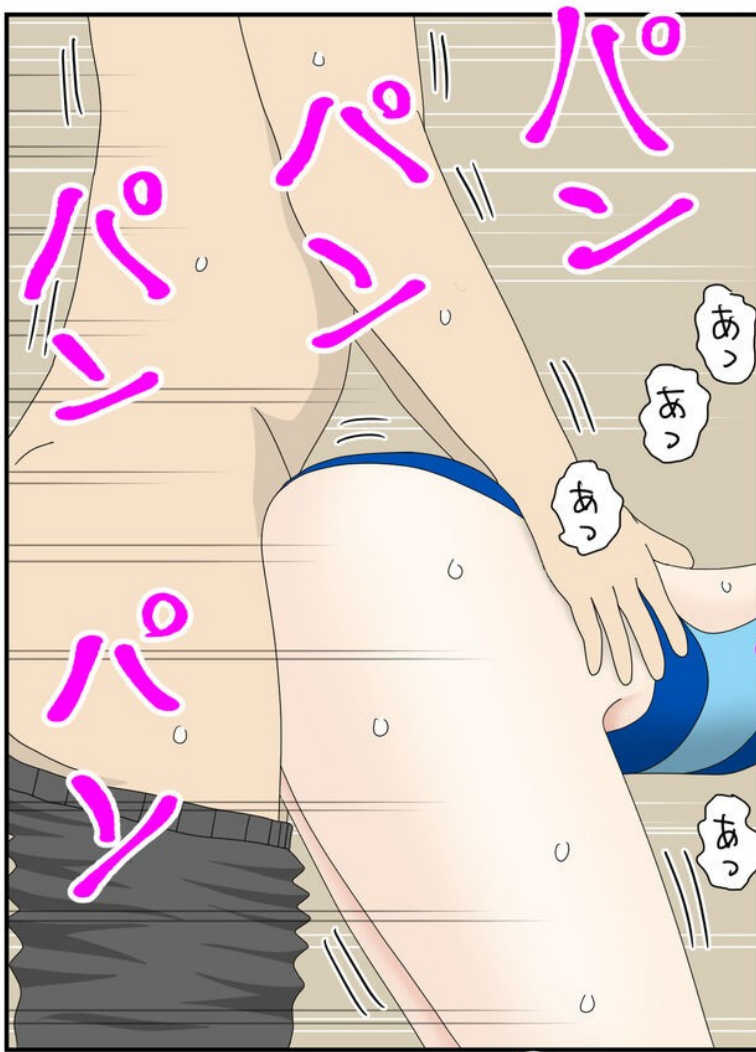


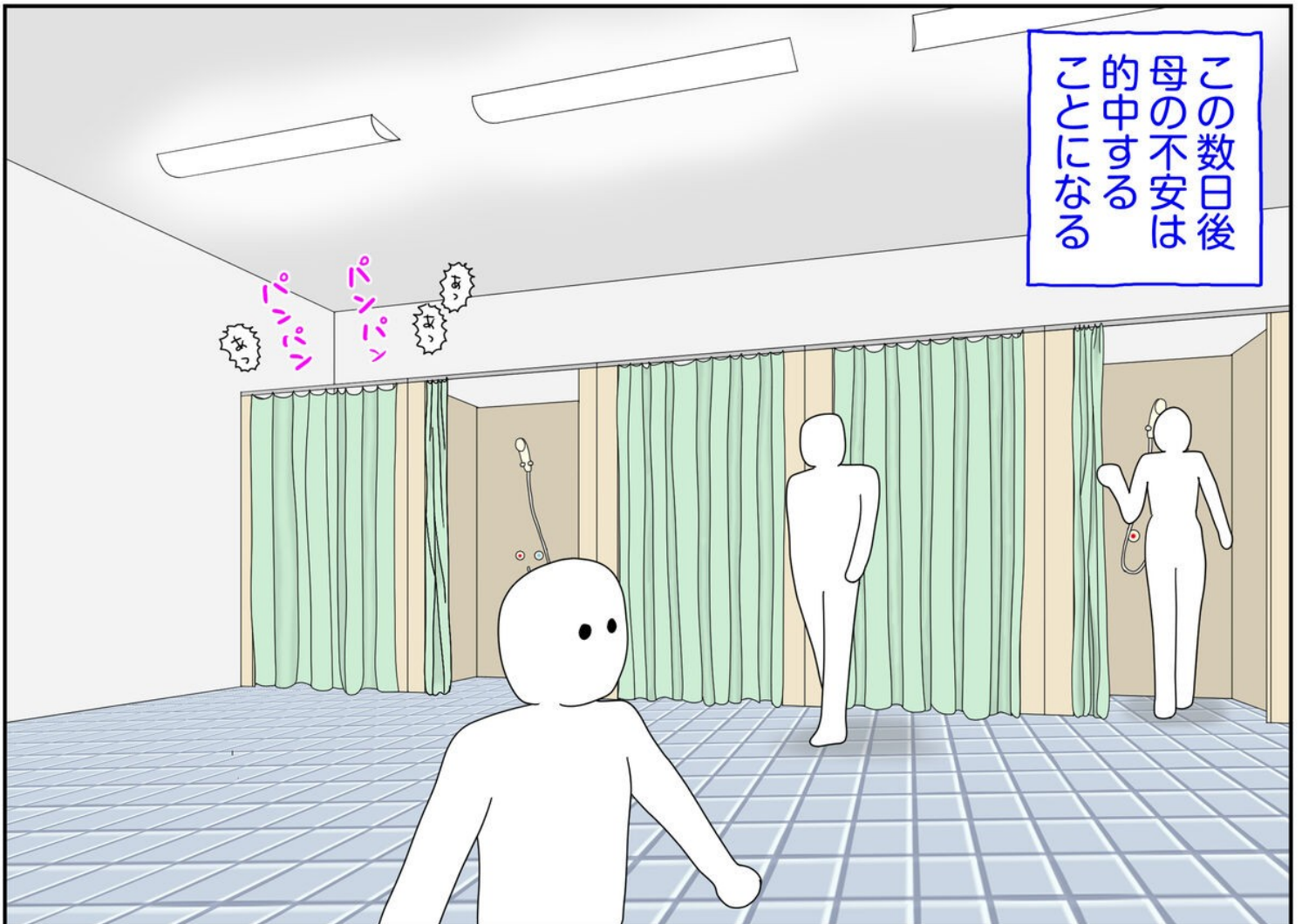
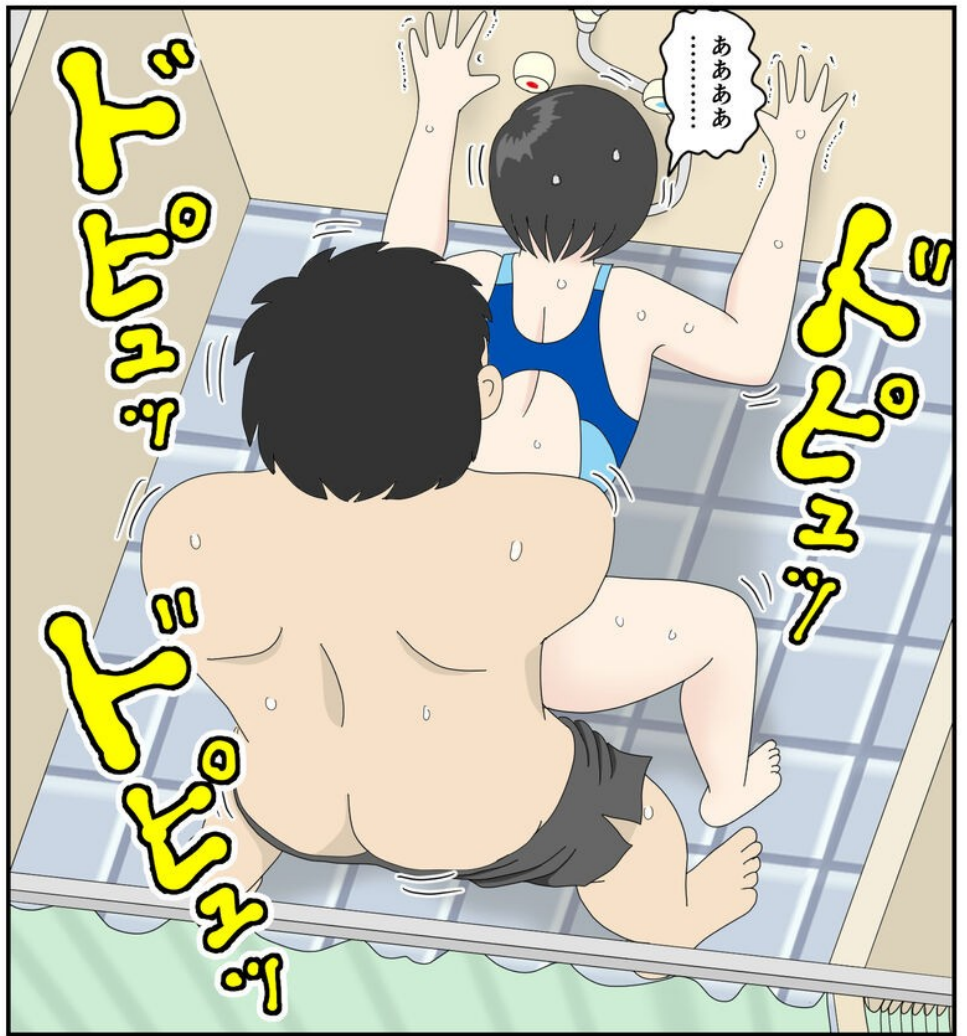
ズパカ



だめ……
だめ……
純平
やめ……
やめ……









私と純平の關係に
気づいたんだわ

やっぱりあの時……
綾子さんがうちに
泊まりにきた時



まさに問答無用！
話し合いも
連絡することも
拒否された



純平と綾子の婚約は
綾子の側から
一方的に破棄！



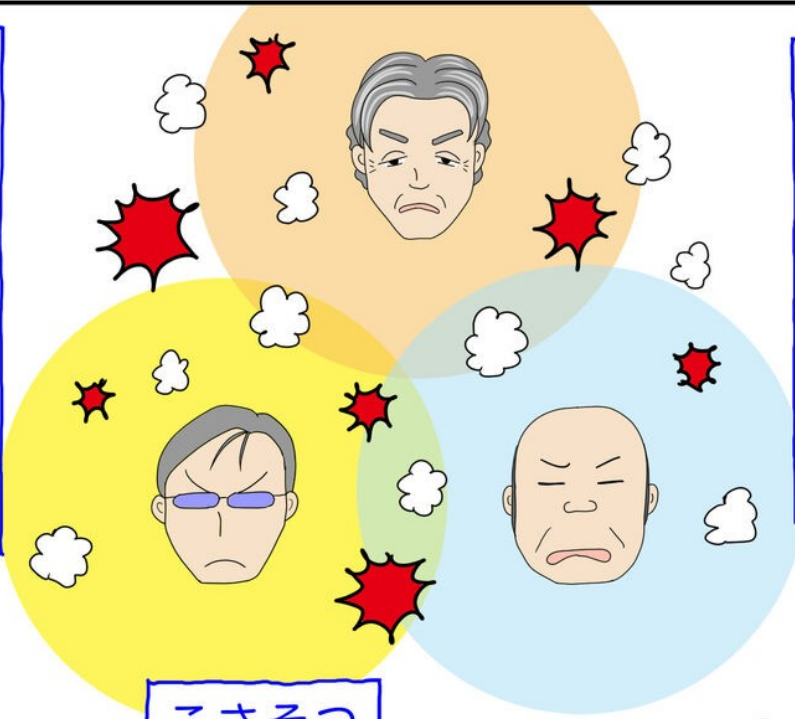
なんとこんどは
副社長の娘との
縁談が持ち上がった
のである

前婚約者の綾子は
純平の勤め先・
アマグル社の
専務の娘だったが

しかし母と純平の
挽回のチャンスは
驚くほど早く
やってきた

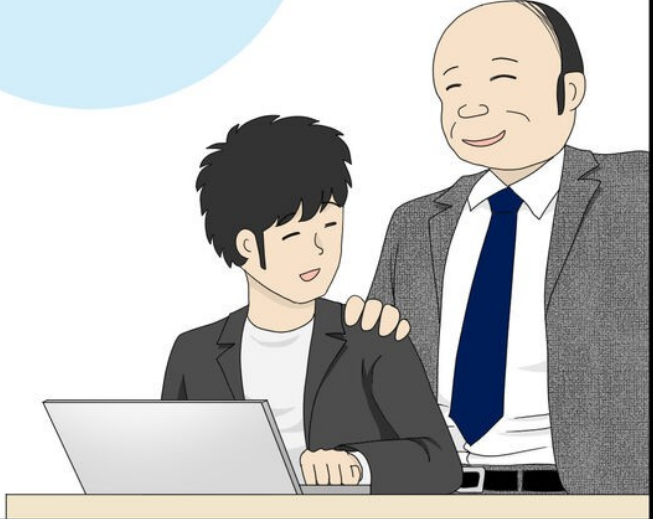


実はこれは社内の激しい派閥争いの産物だった副社長派が人材として純平を陣営にとりこもうとしたのである



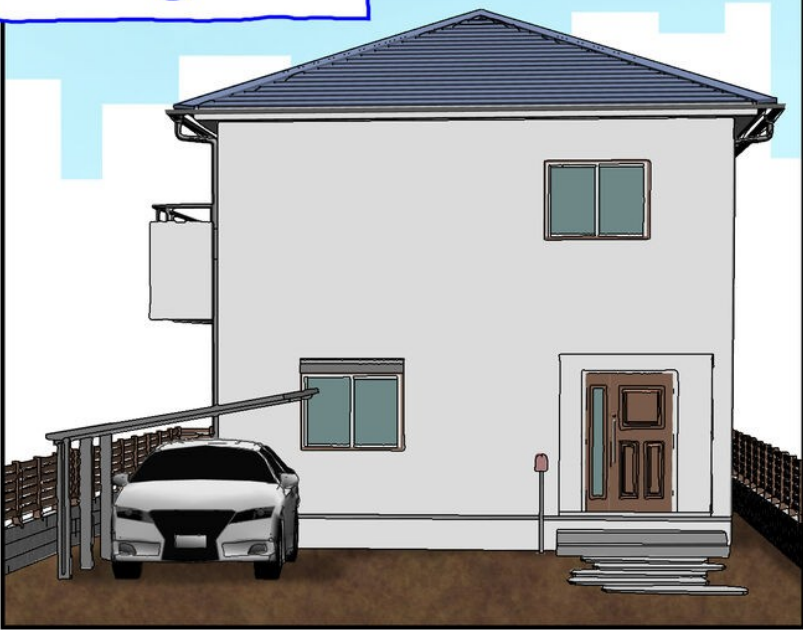
それと前婚約者・綾子は母と純平の関係について親にも誰にも言わなかったそのため社内で純平の悪い噂は立っていないかった

つまり純平の能力がそれほど高く評価されているという点でもあった

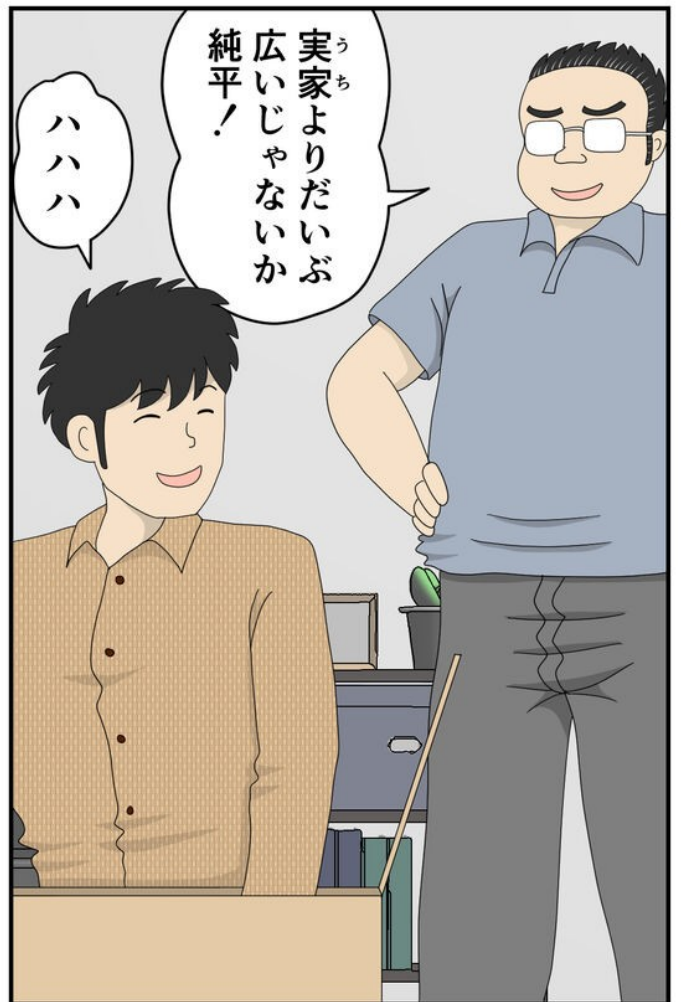
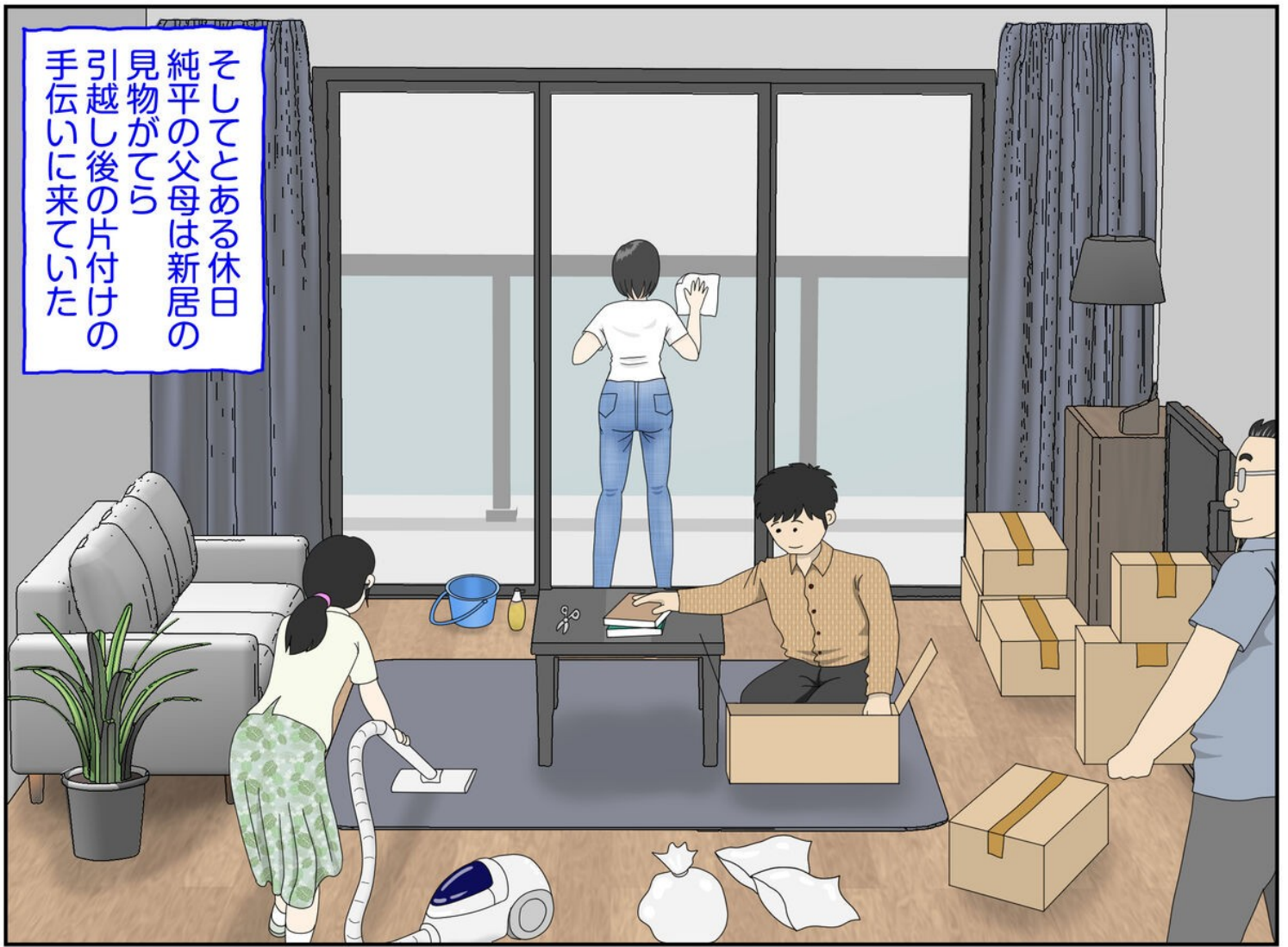


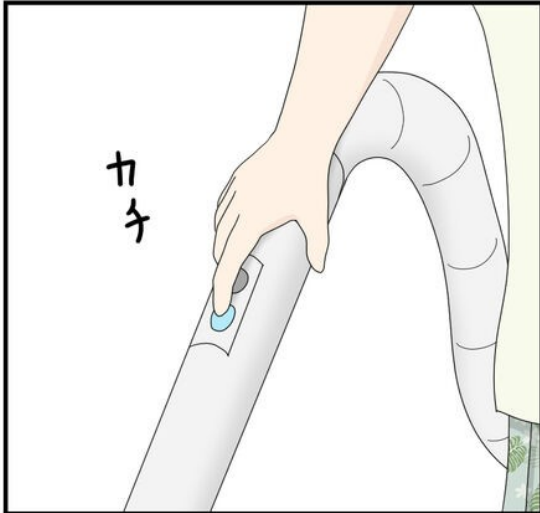
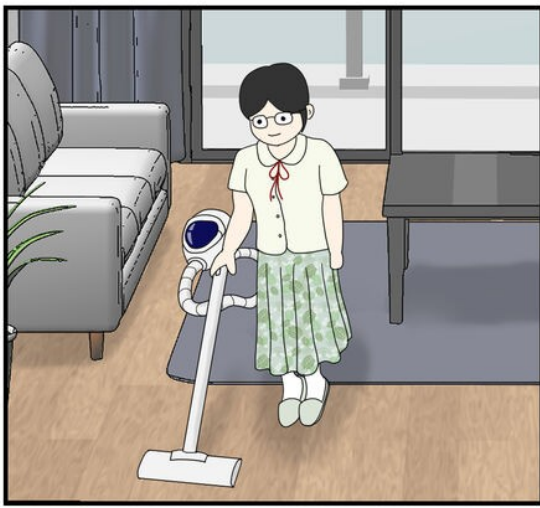
よかったよよかった本当によかったです

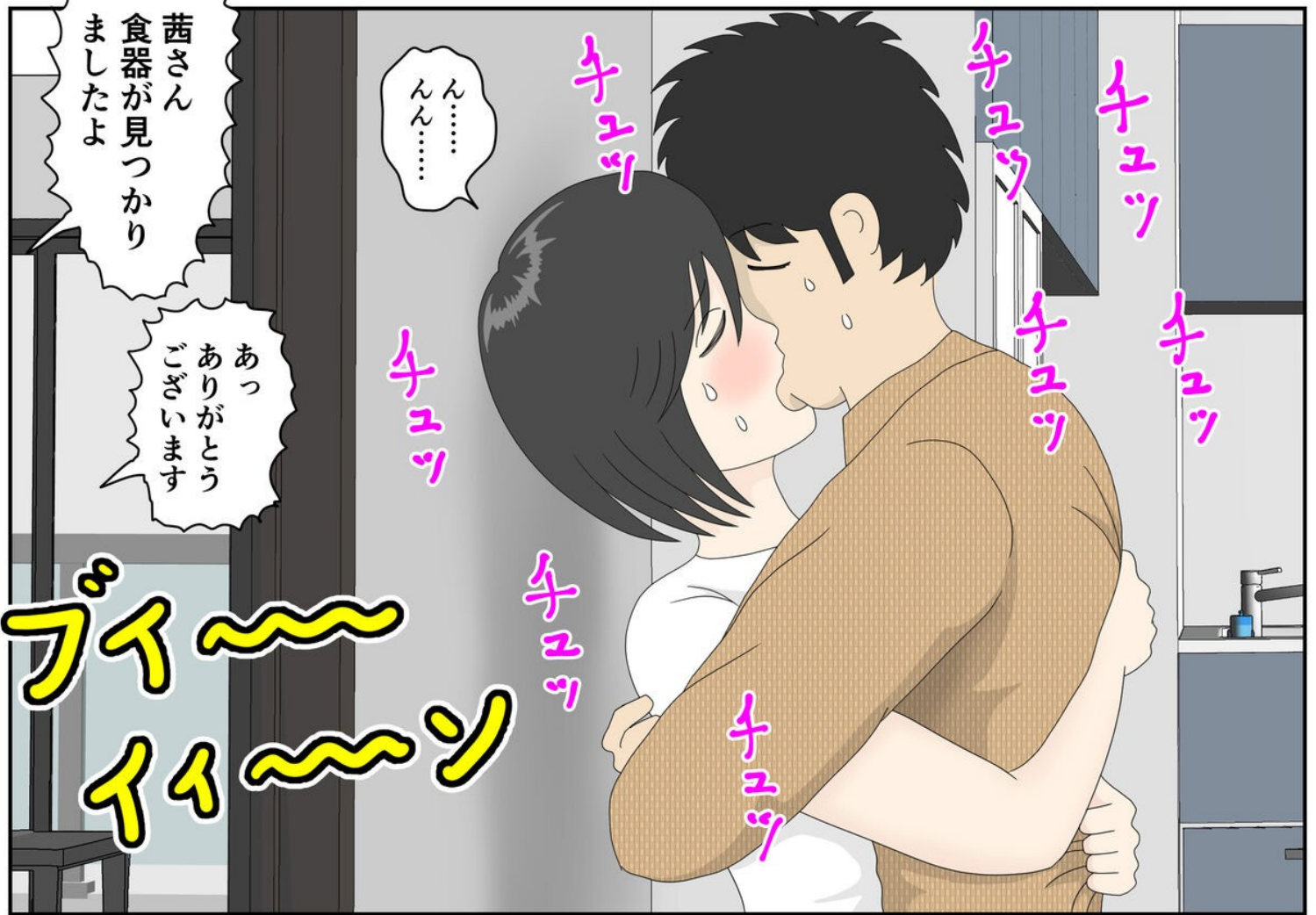
話はとんとん拍子に進み新婦側が費用のほとんどを負担し新居を購入純平と婚約者はそこに移った

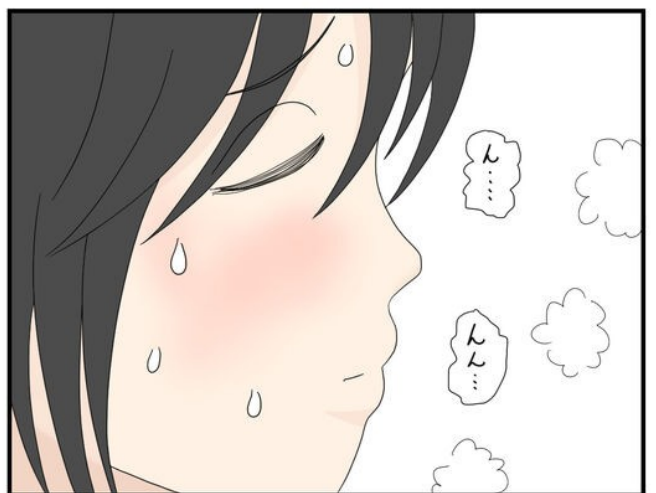
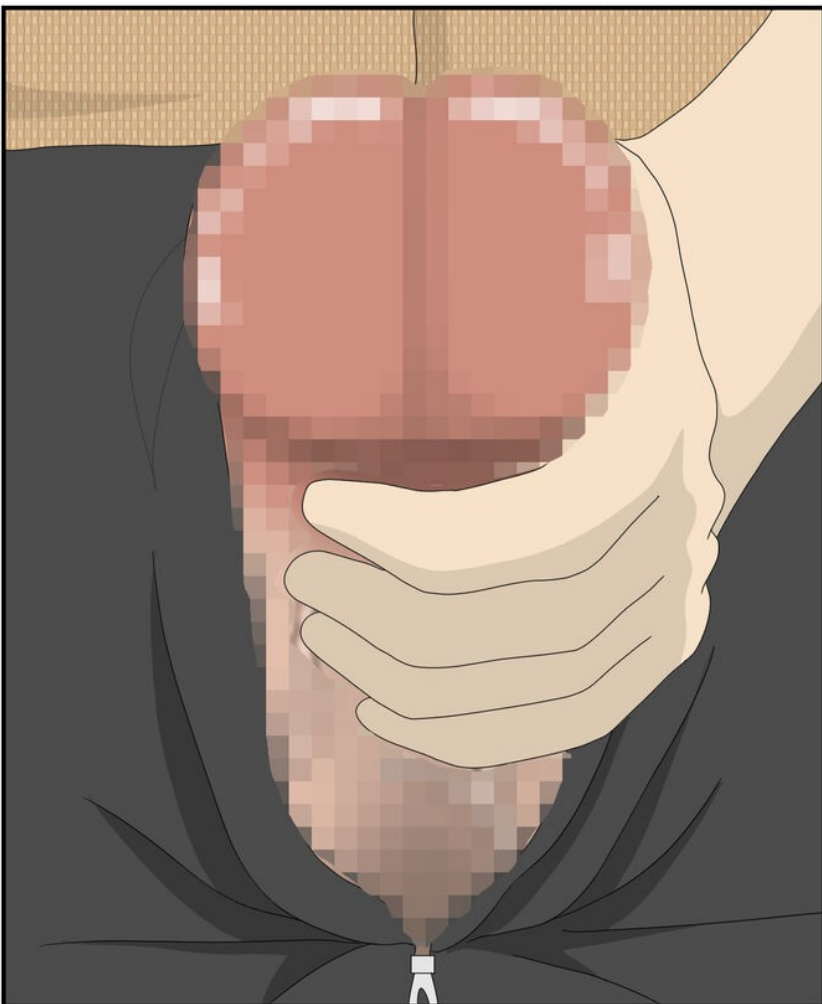
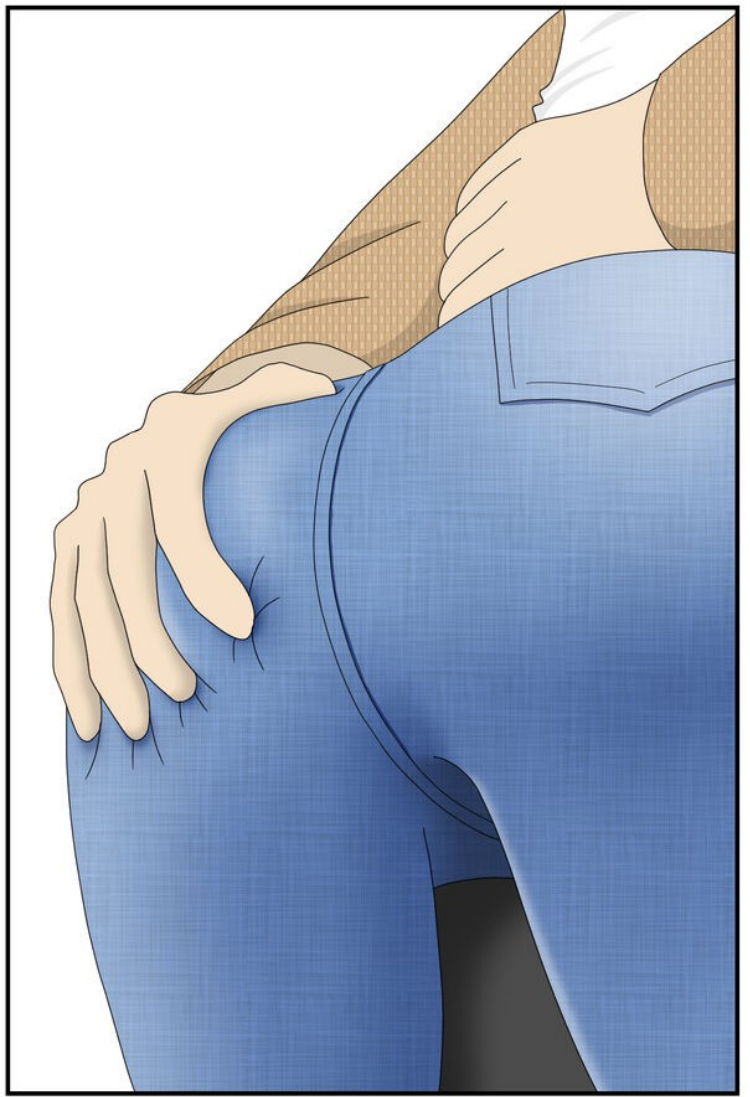
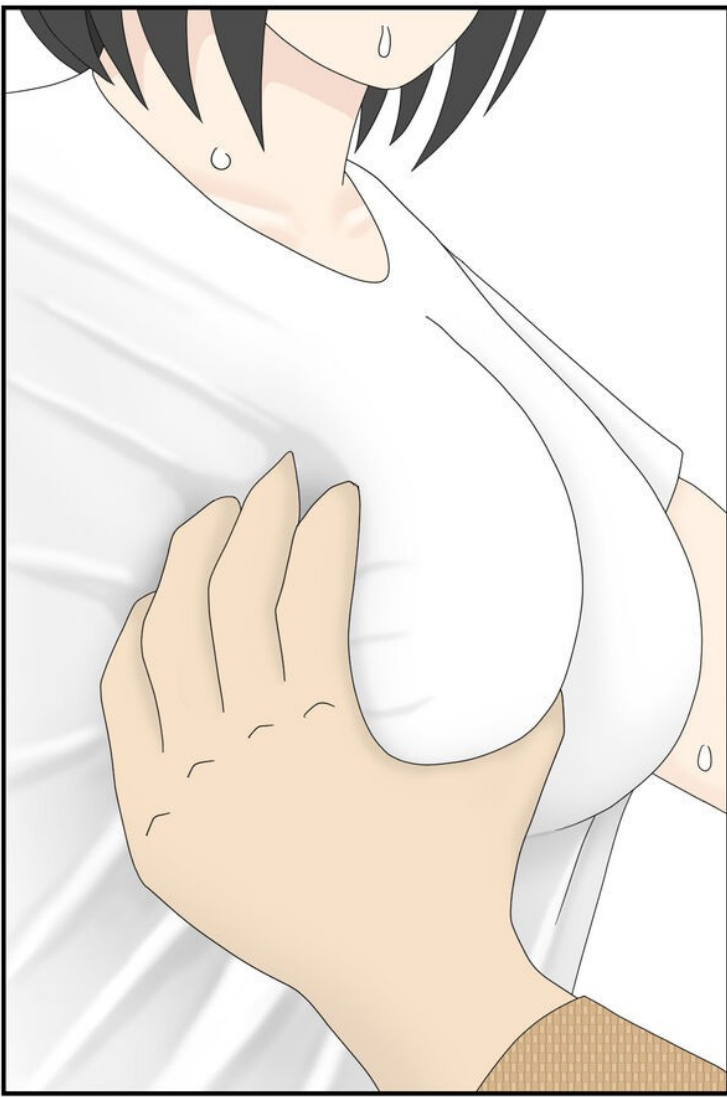


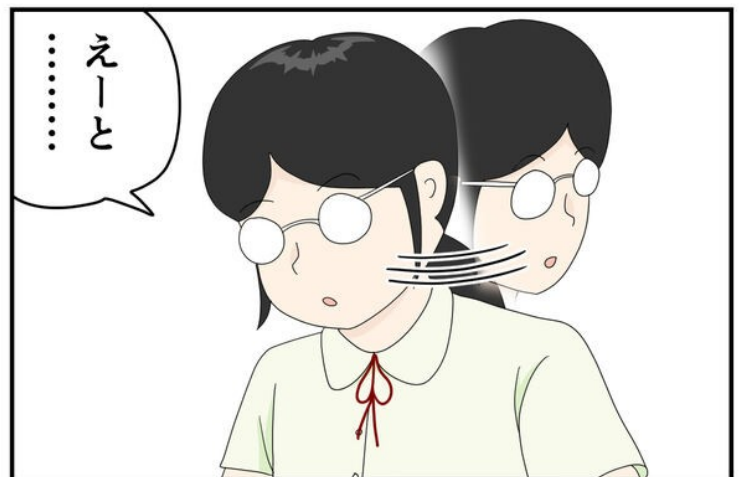
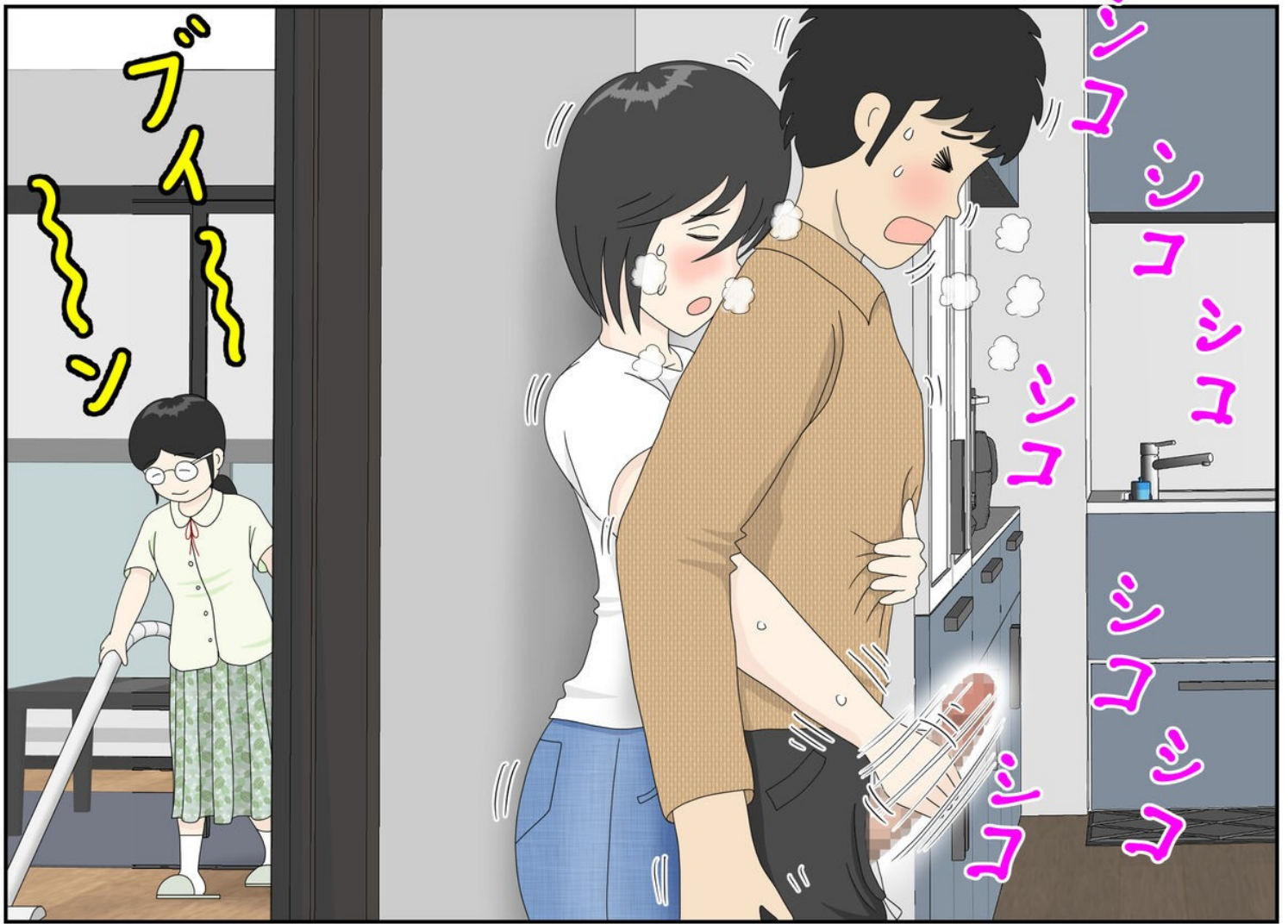
今度こそ……今度こそ絶対に純平の結婚の邪魔をしない！

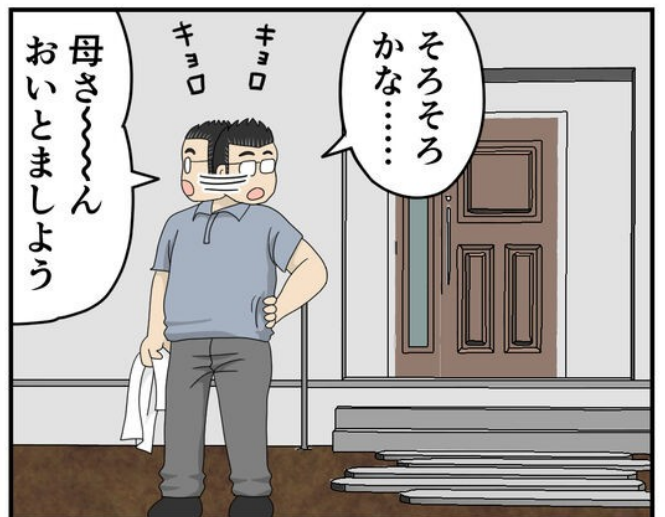
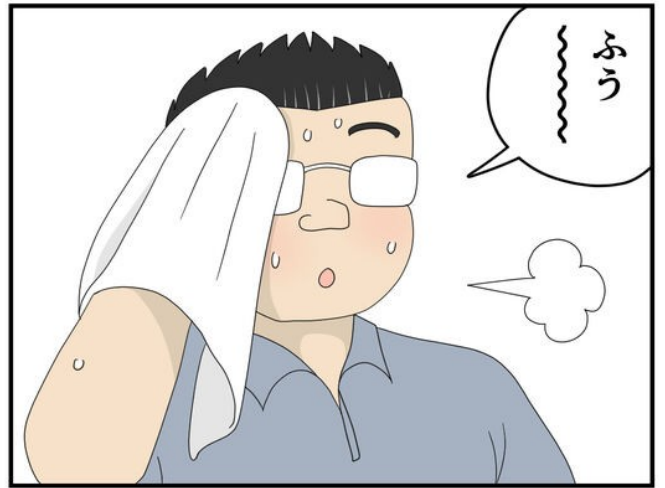
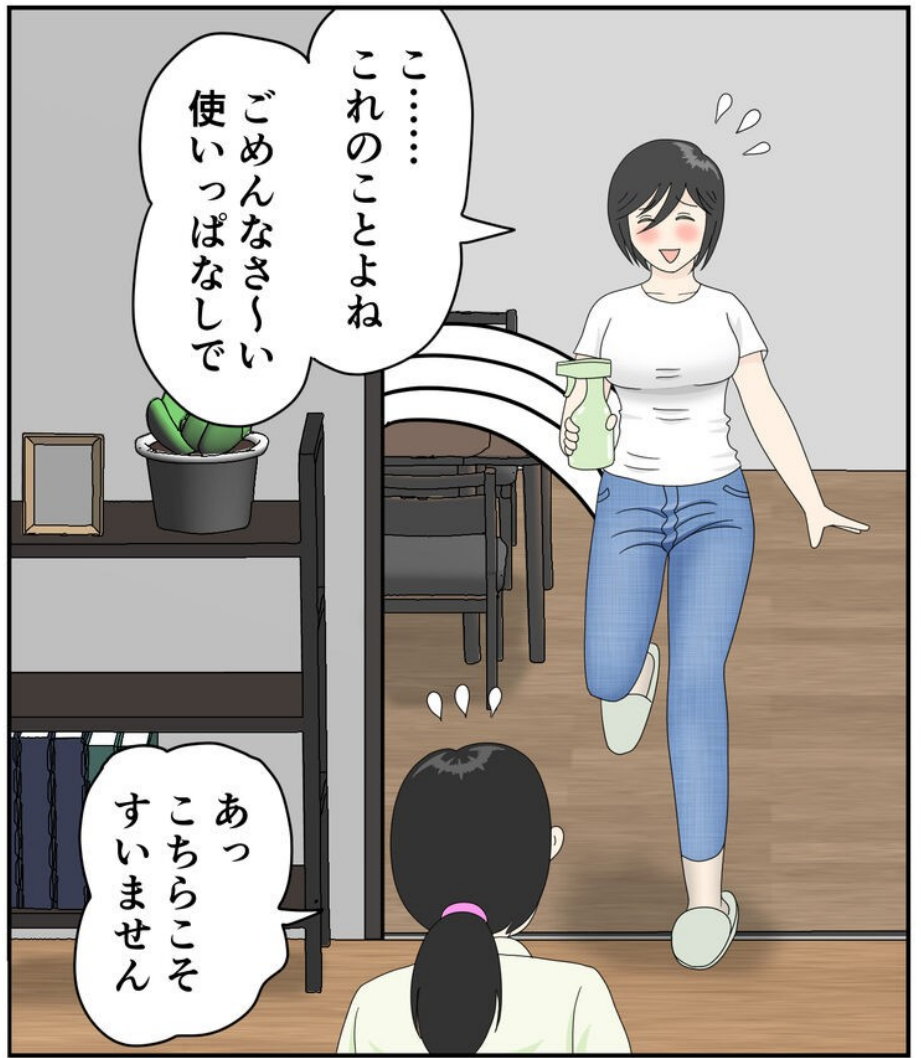


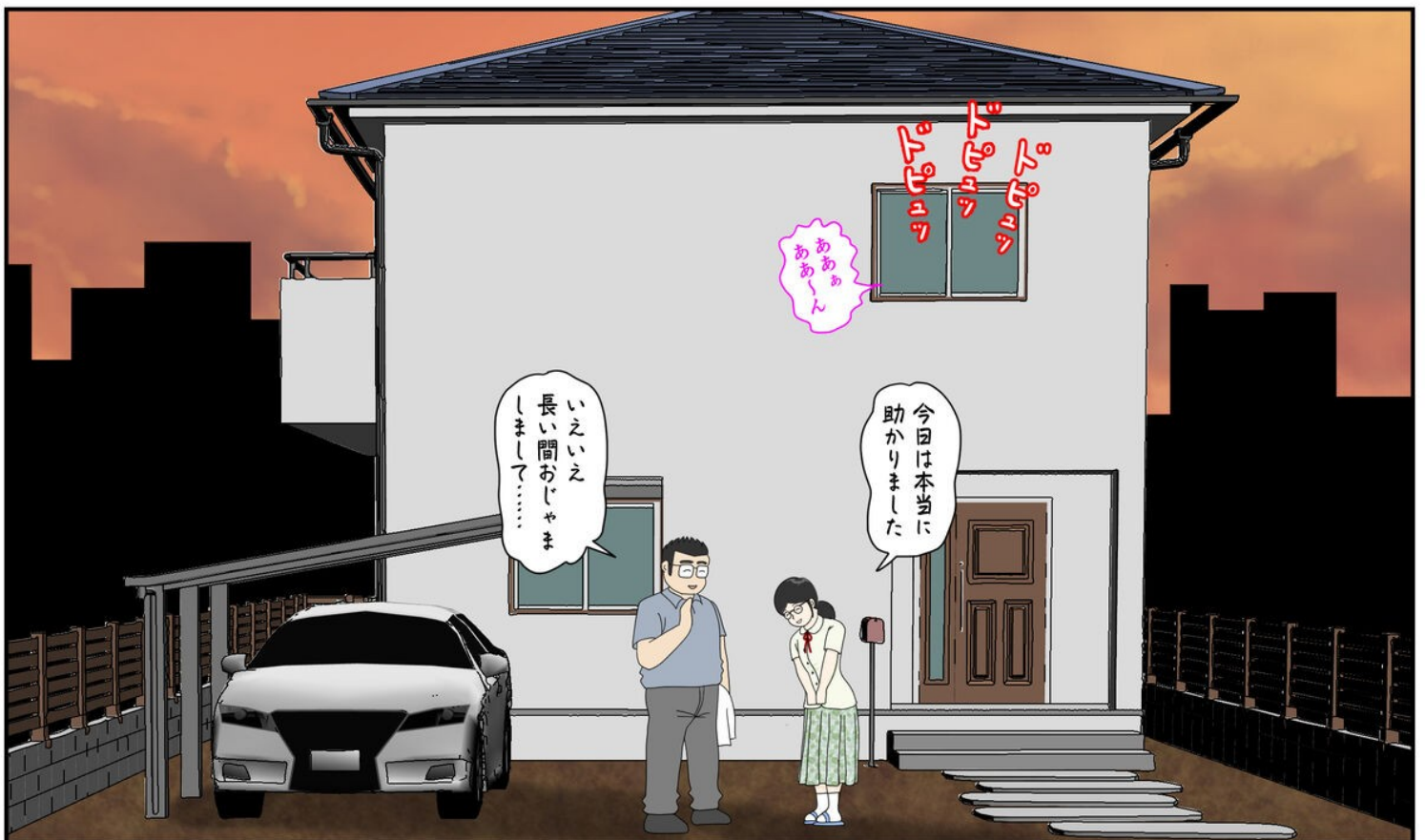
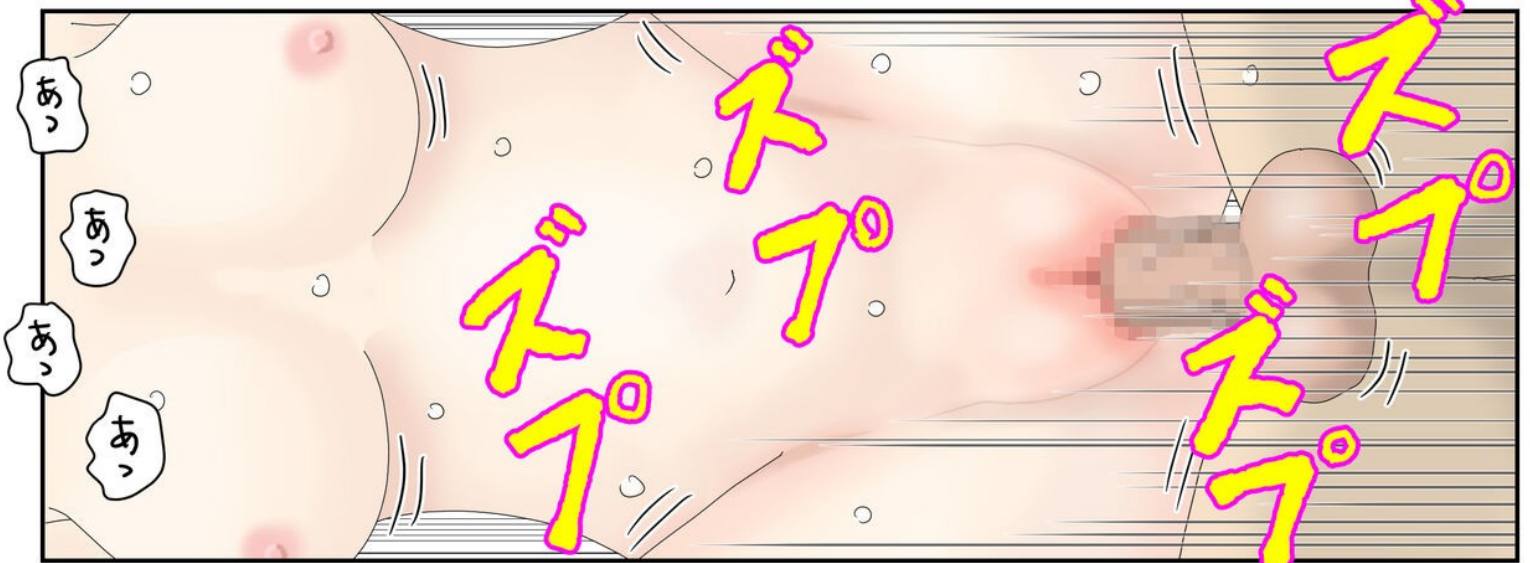


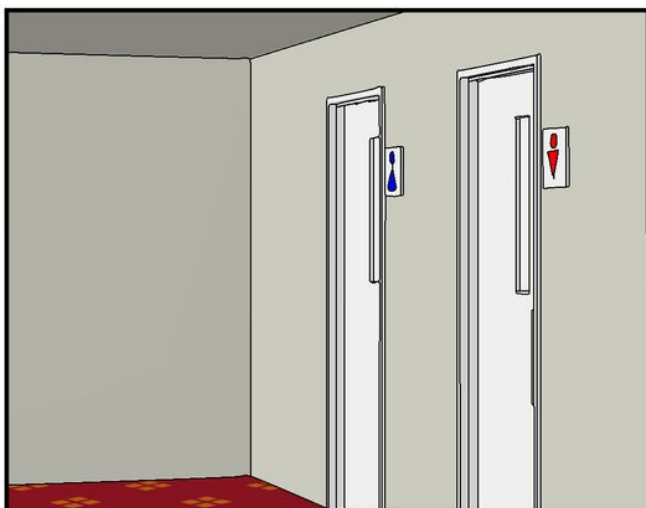
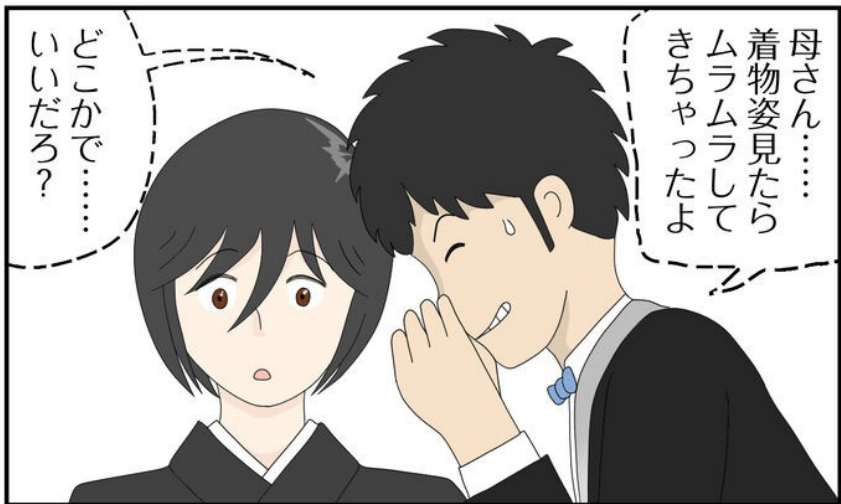
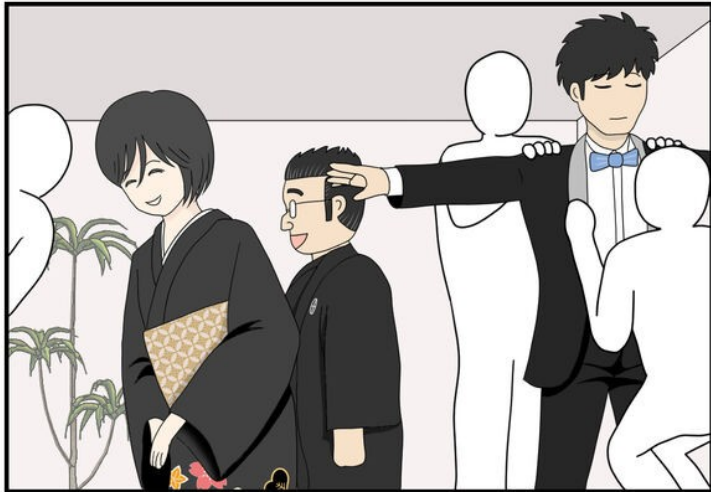
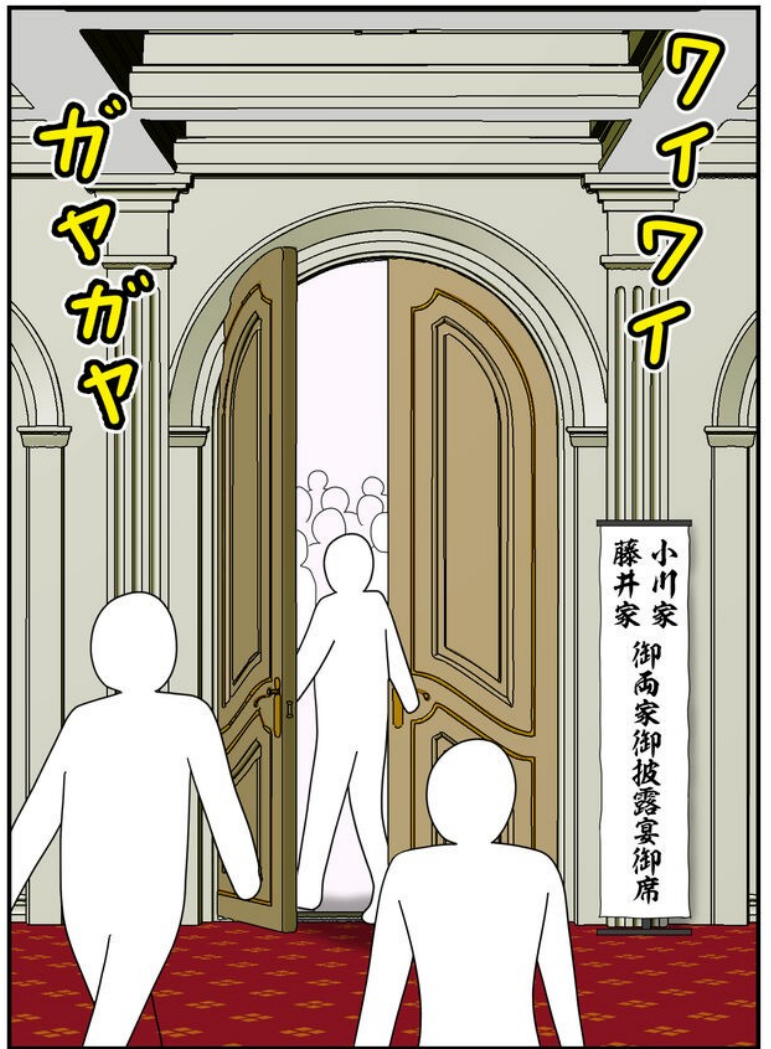


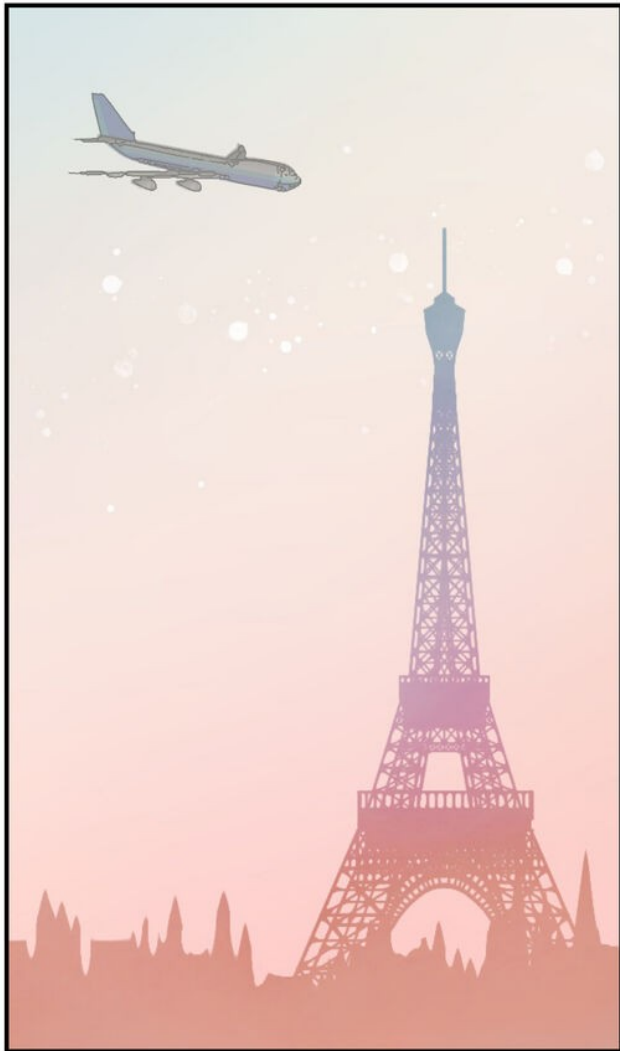
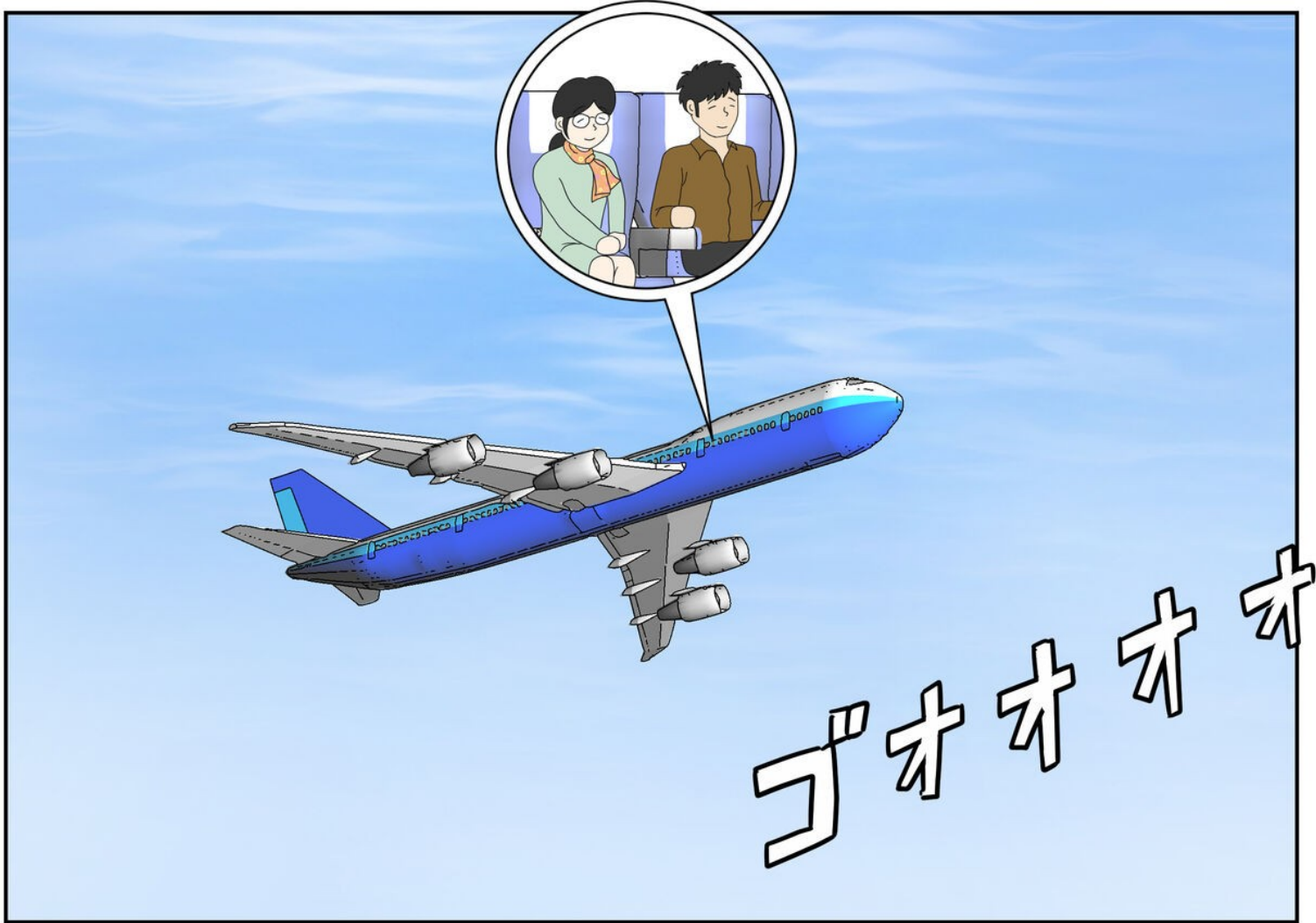


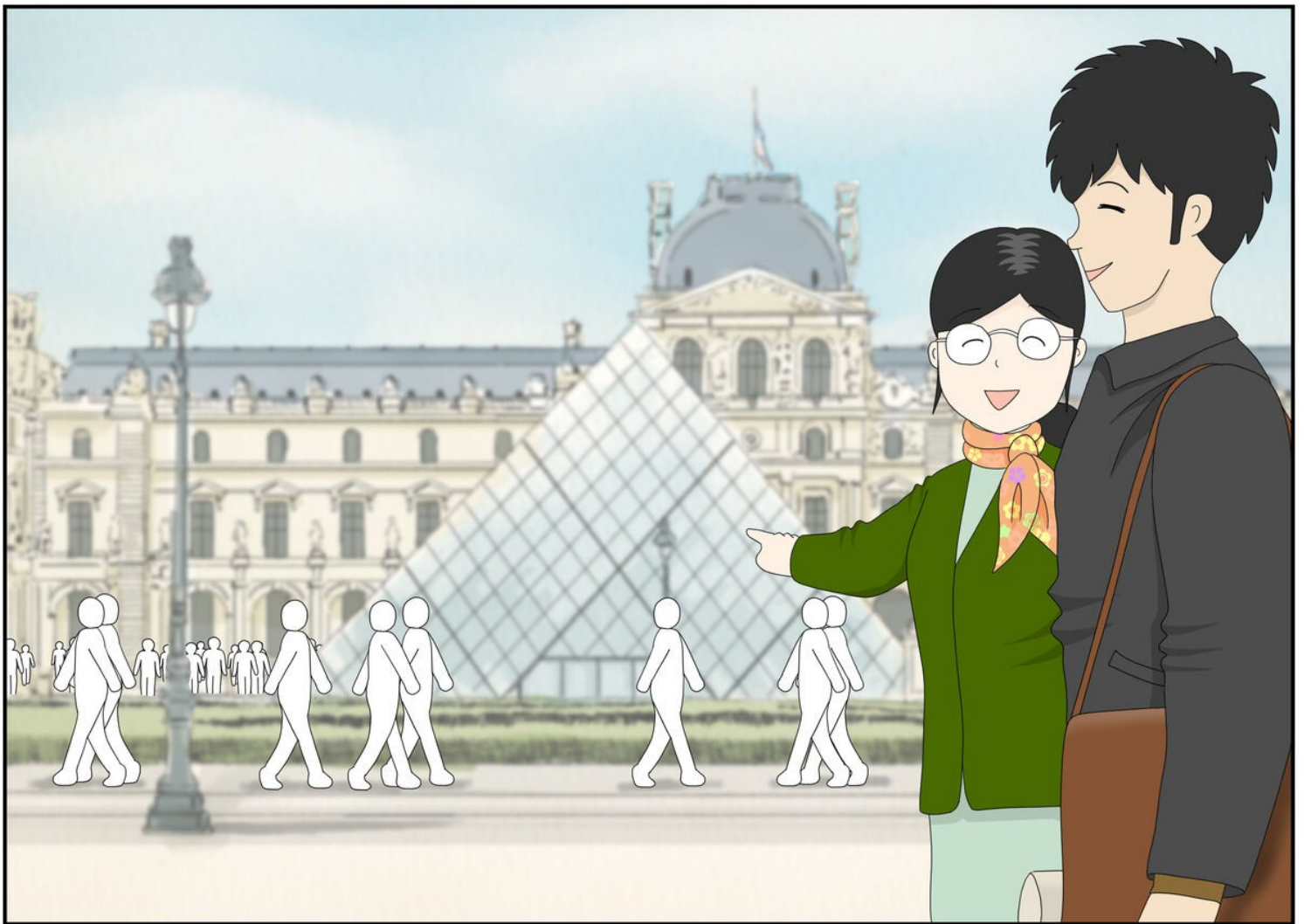


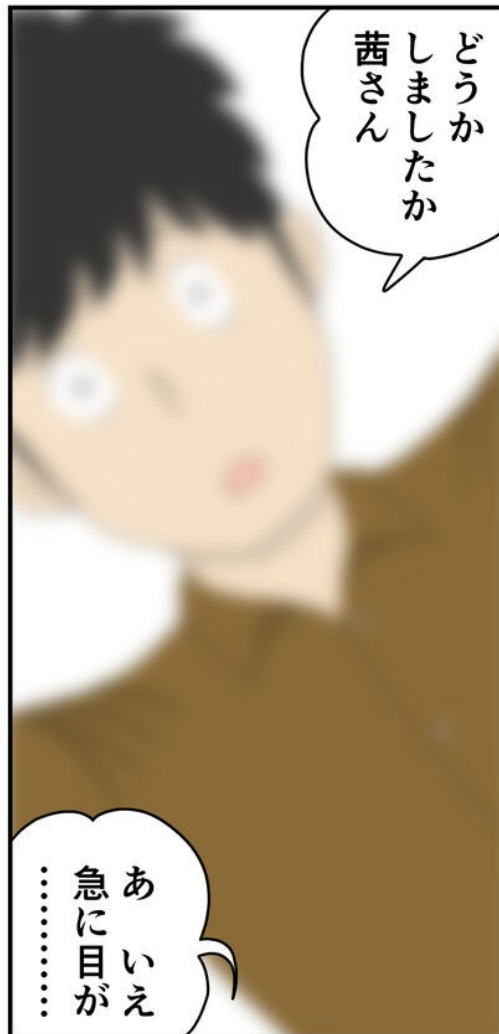
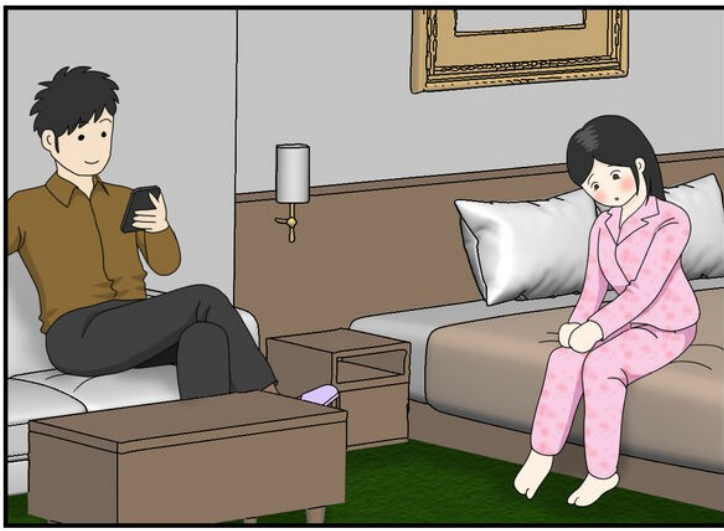












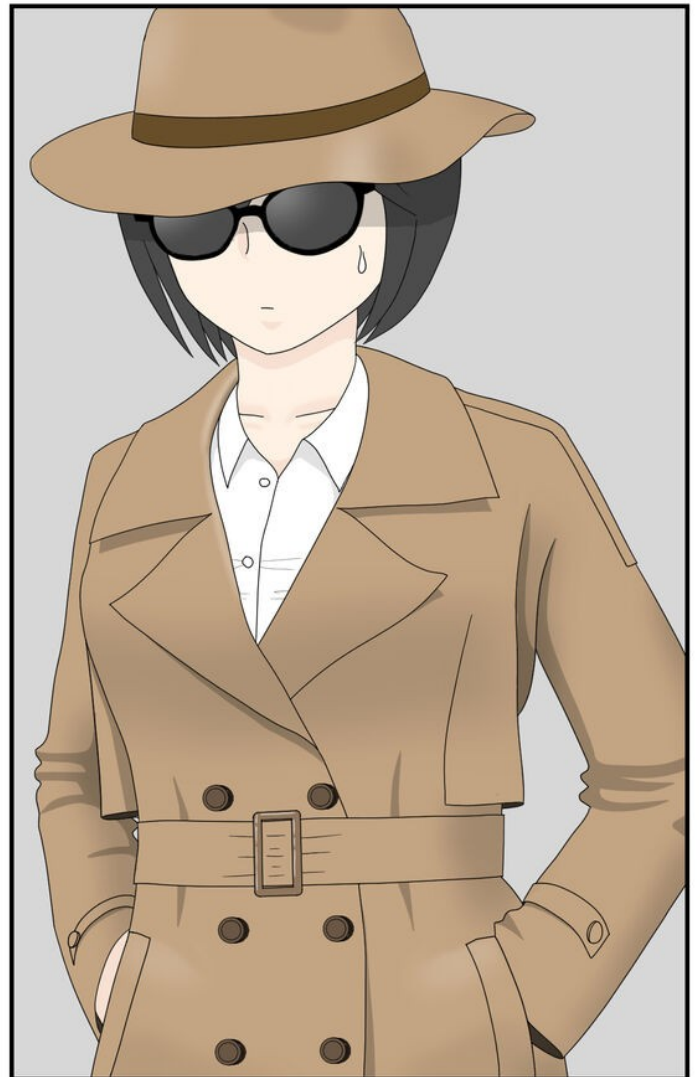
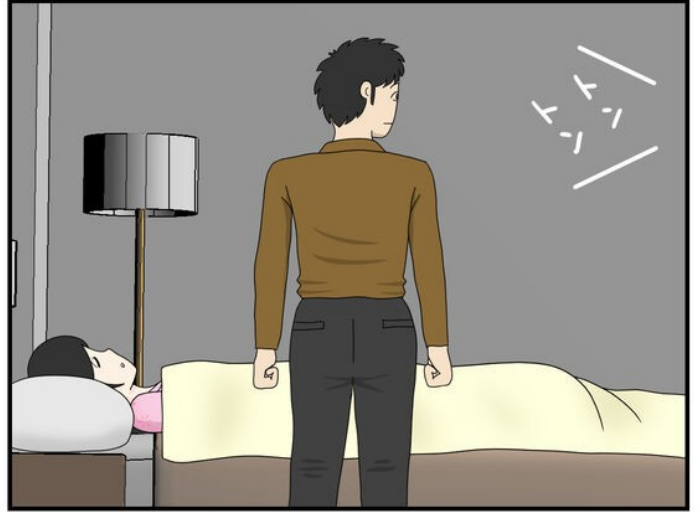
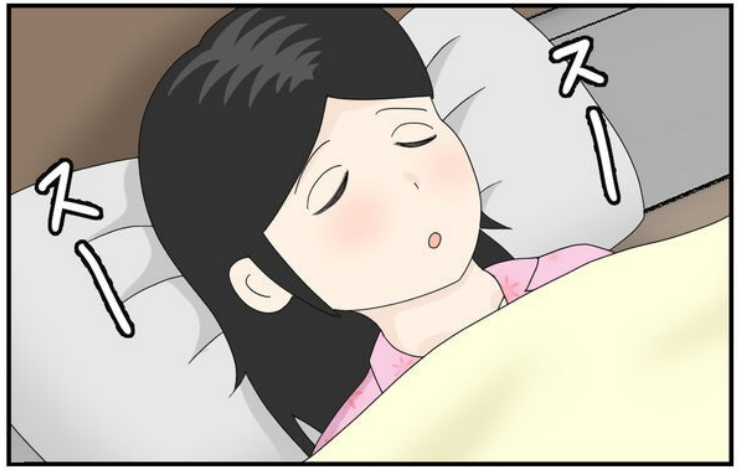
どうか
しましたか
茜さん

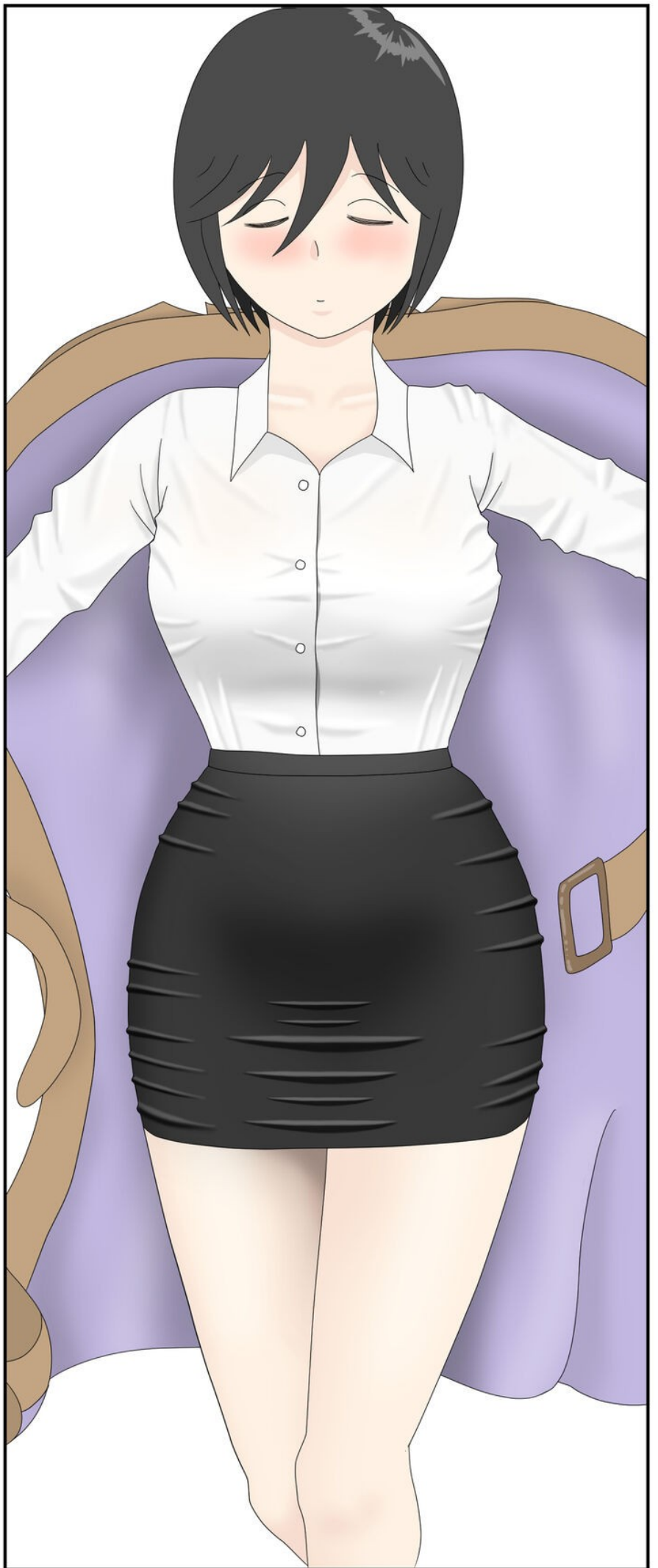
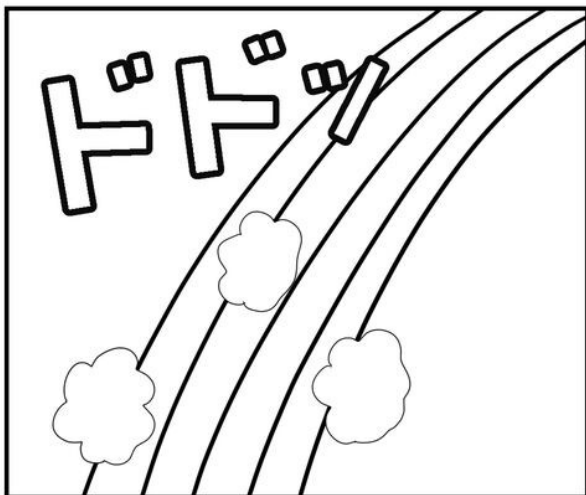
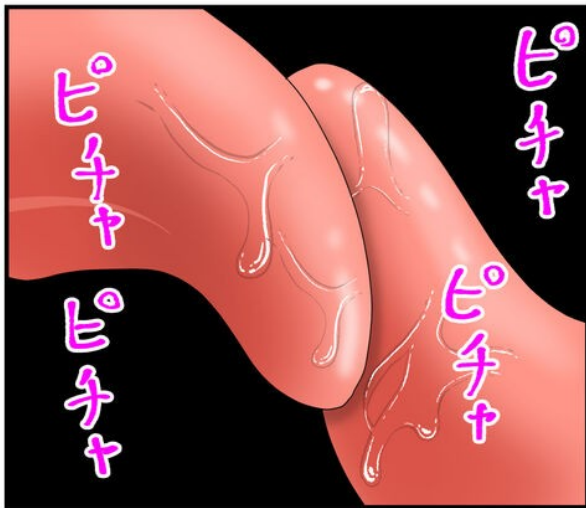
あ
い
え
急
に
目
が

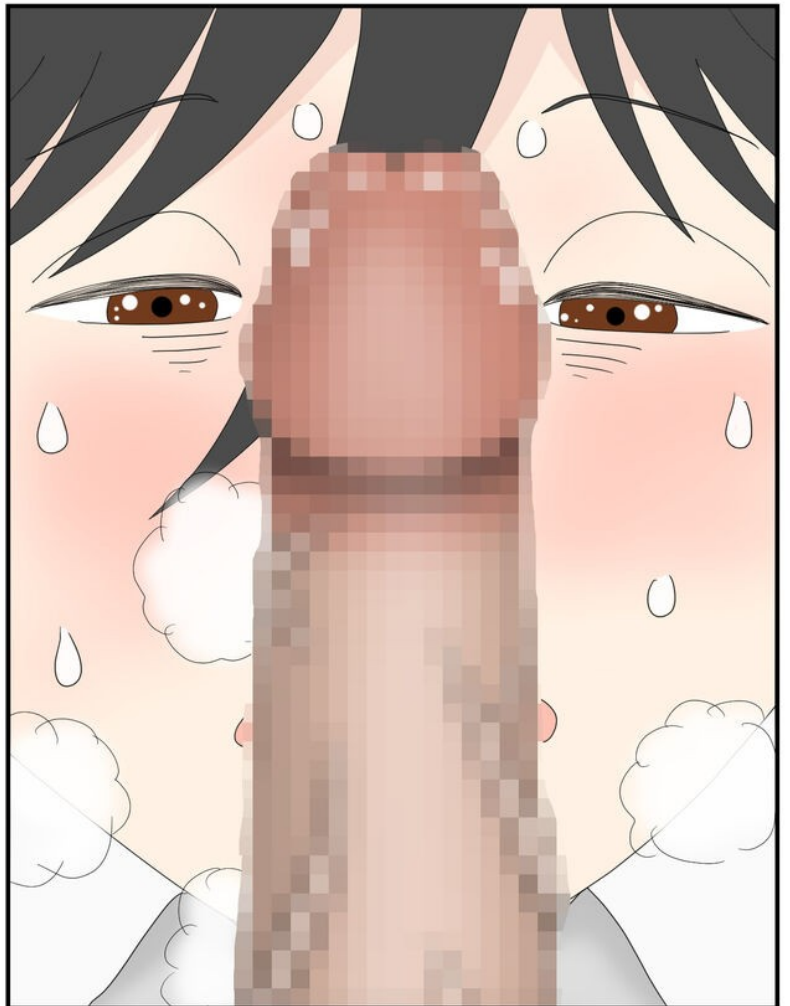
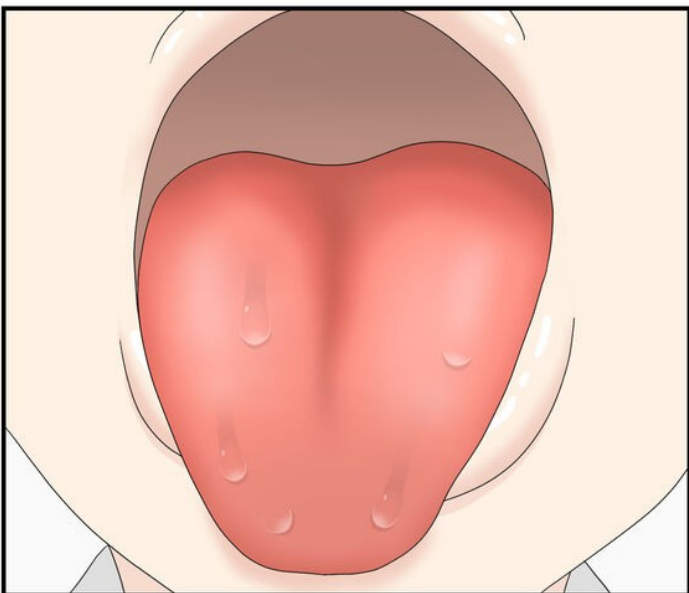
とりあえず
横になつたら

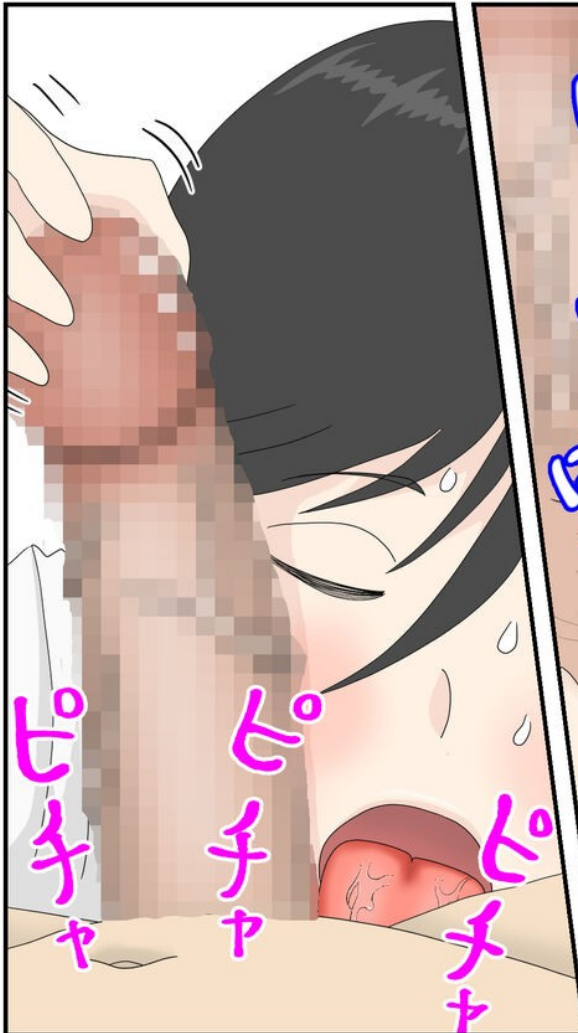
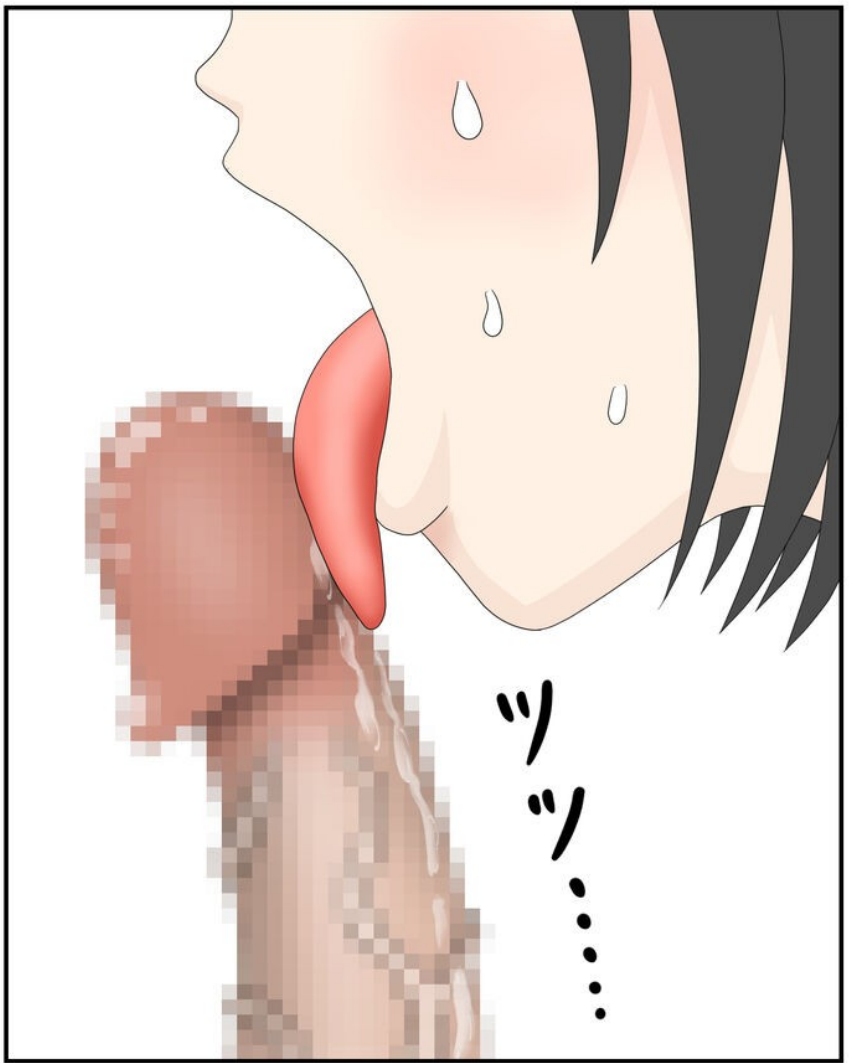
あ
い
は
は
い
...

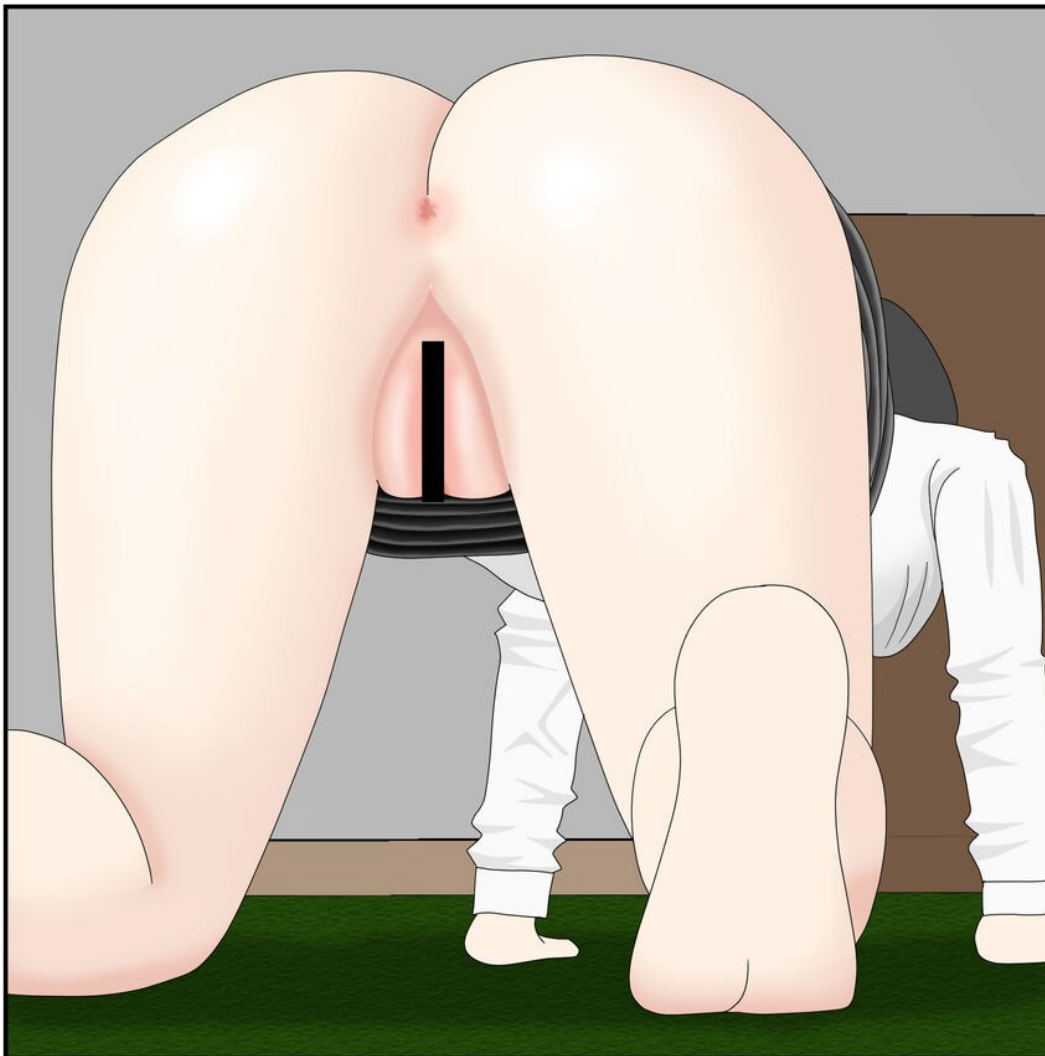
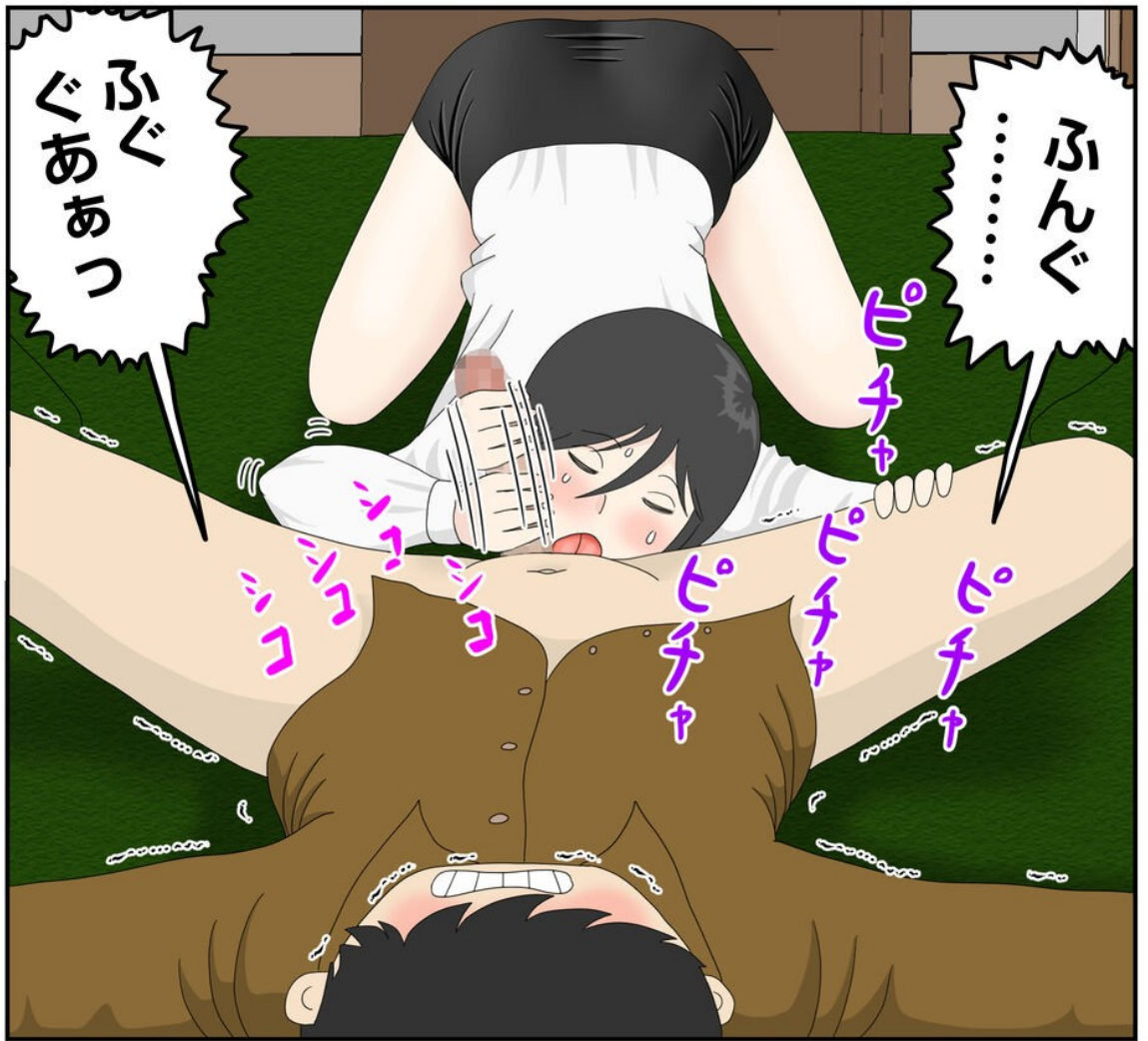
あれっ!?

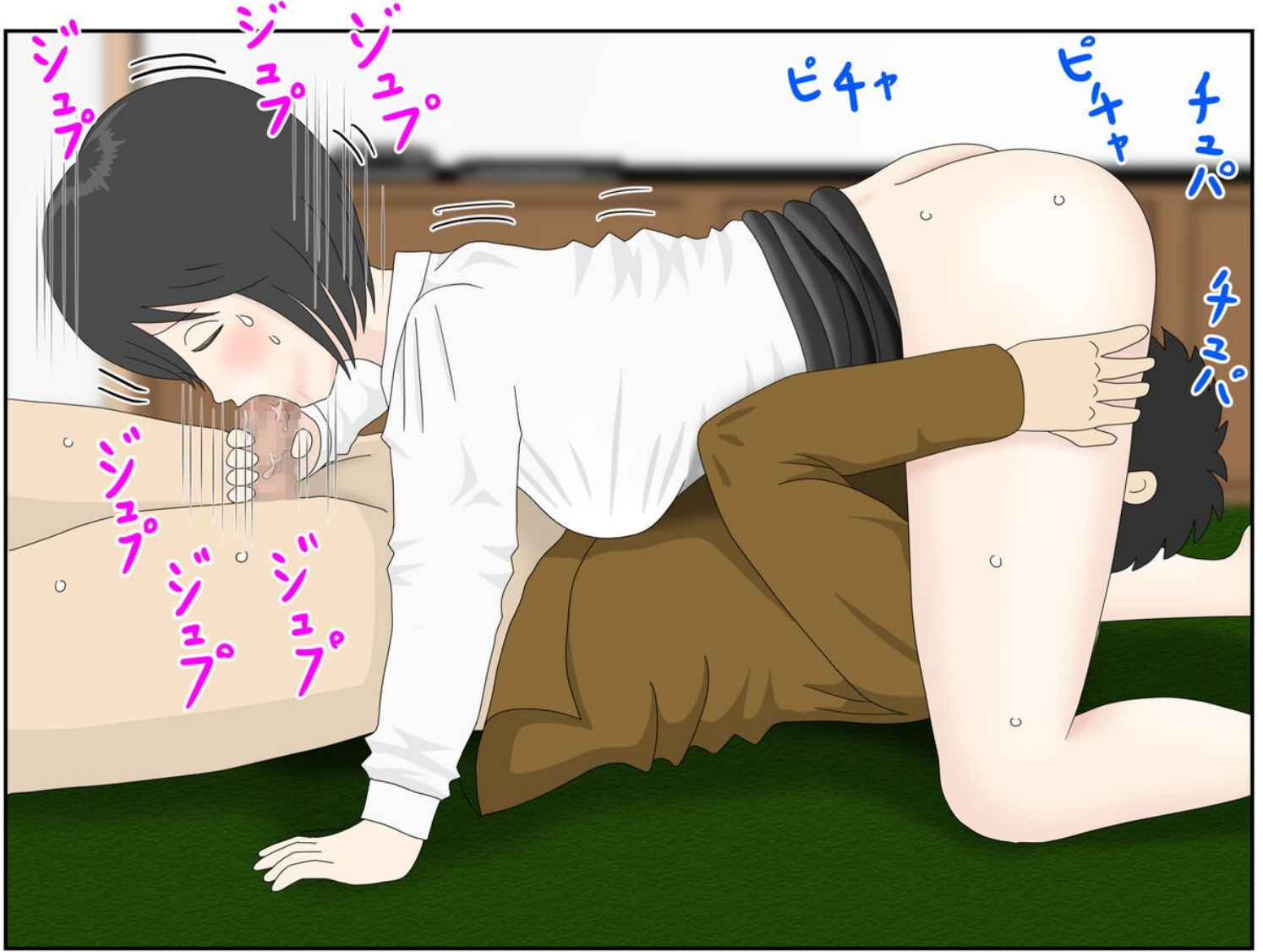


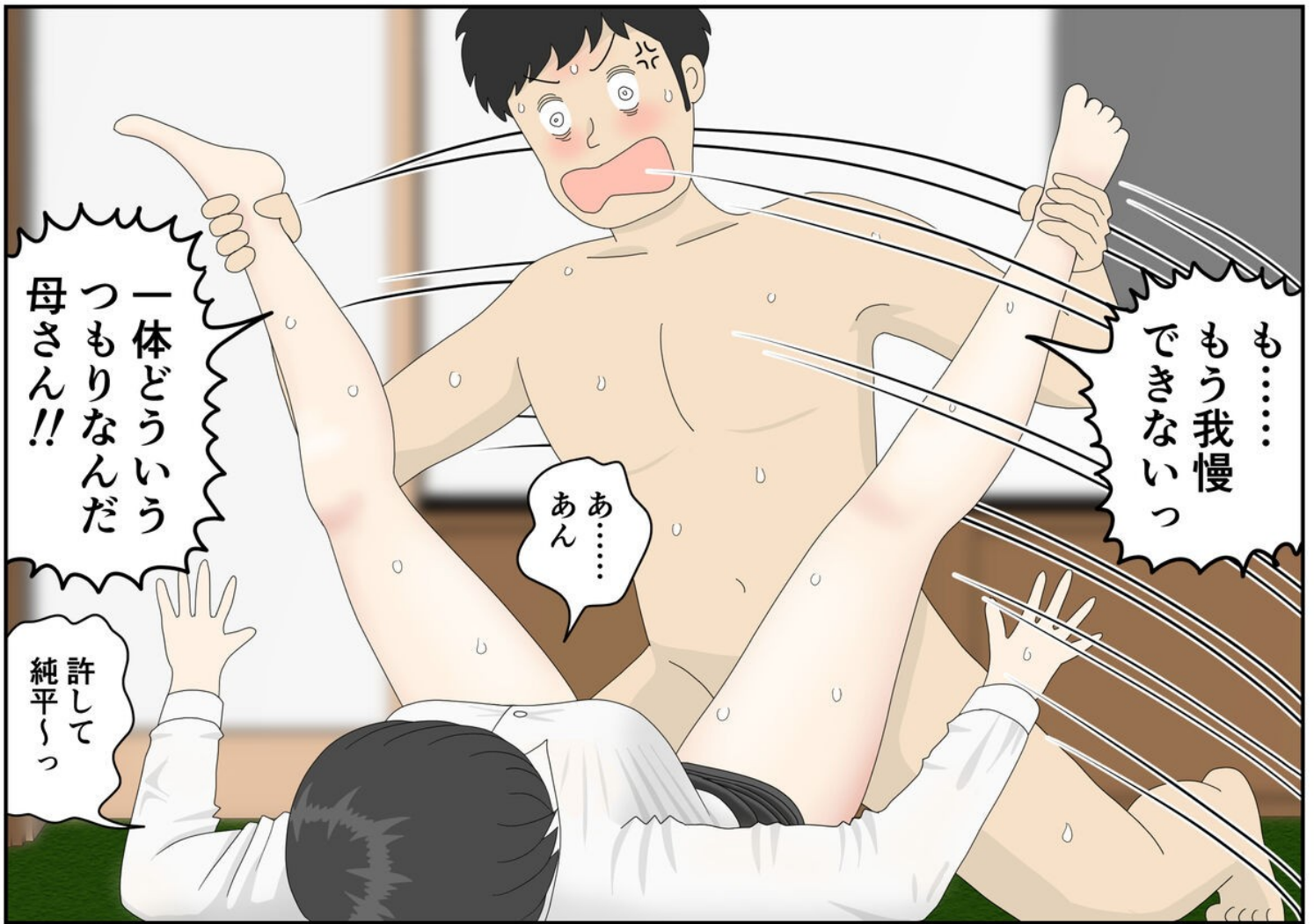












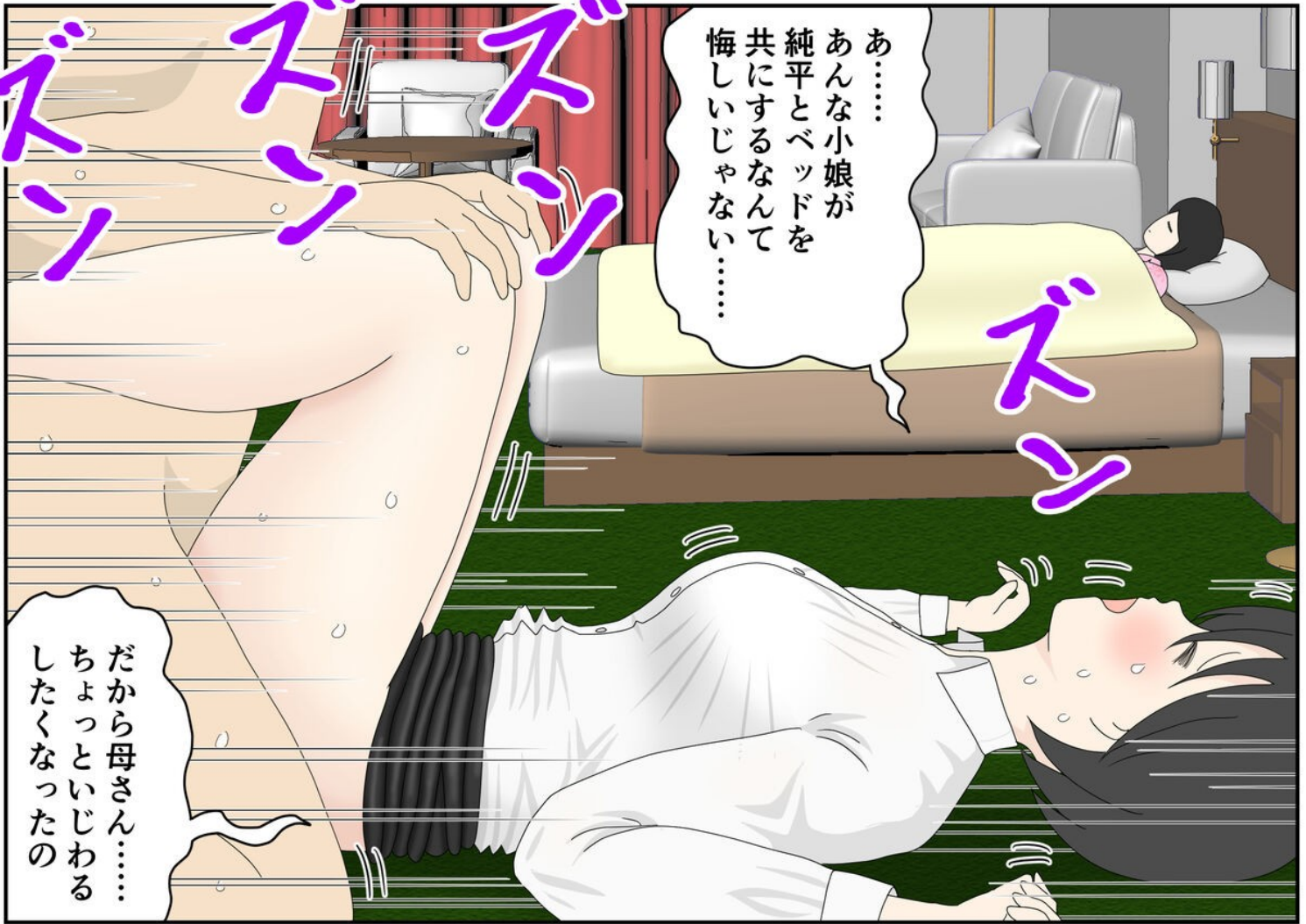


ご…ごめんなさい
だって…だって



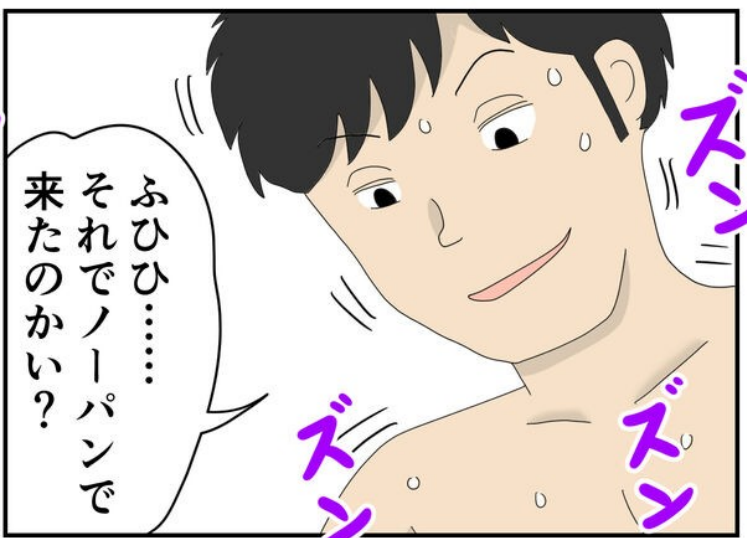
今日は朝まで
無限中出しの
刑だ！母さん！！

さらに！！



あ…
あんな小娘が
純平とベッドを
共にするなんて
悔しいじゃない…

だから母さん…
ちよっといじわる
したくなつたの



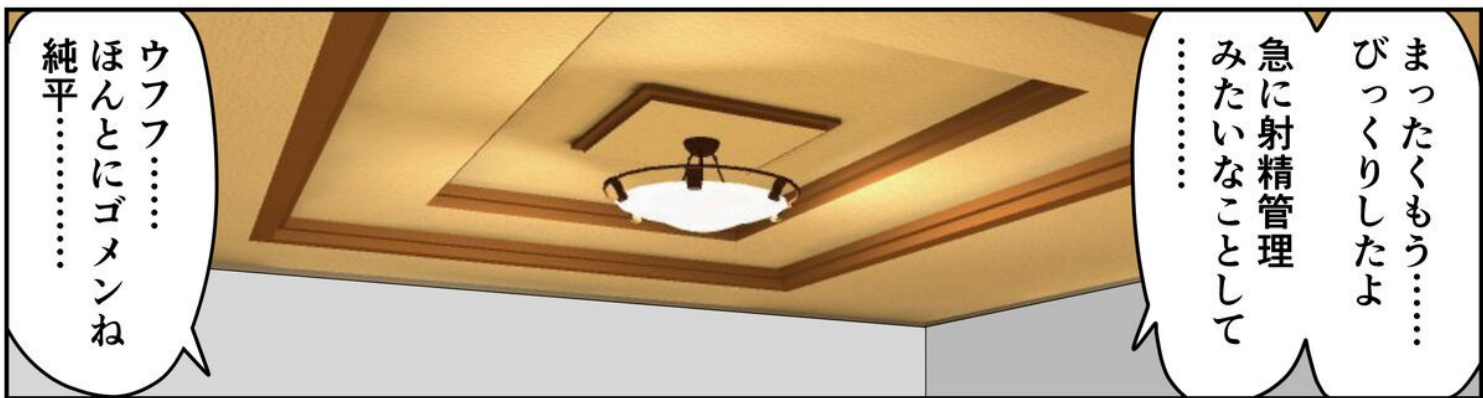
ふひひ…
それでノーパンで
来たのかい？

そ……そうよ
私はダメな母親

息子に少しでも
早く抱かれたくて
日本からここまで
ノーパンで来たのよ
……!!

ドピュッ

ドピュッ
ドピュッ



まったくもう……
びっくりしたよ
急に射精管理
みたいなことして
………

ウフフ……
ほんとにゴメンね
純平………



前にも言った
だろう……
俺が結婚しようが
何しようが
母さんは永遠に
俺のオンナ

何も心配
いらナイって

うん……
わかった
純平………

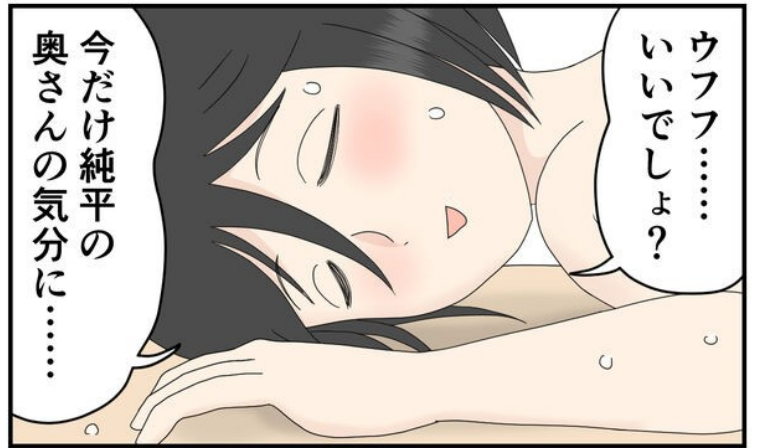


ううん
ごめんなさい

あ・な・た



ごめんね
純………





ねえ
あなた……
また……
しよ？

うん……
沙樹



グ
チ
ユ

グ
チ
ユ

グ
チ
ユ

グ
チ
ユ

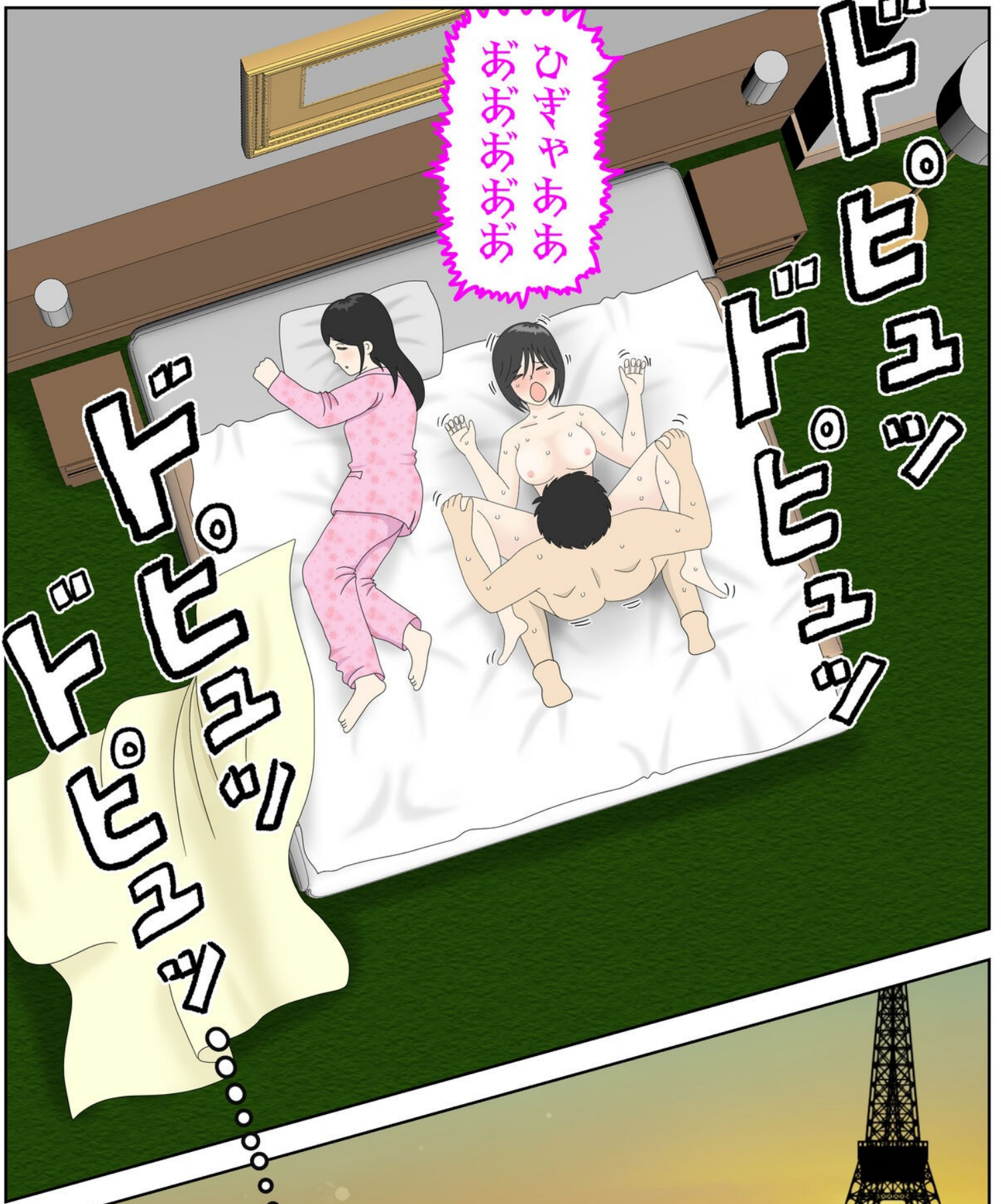


グ
チ
ヨ
ツ……

グ
チ
ユ







ひぎやああ
あまあまあ



